

資 料 編

●米沢市子どもの生活に関するアンケート（抜粋）

1 家庭の経済状況

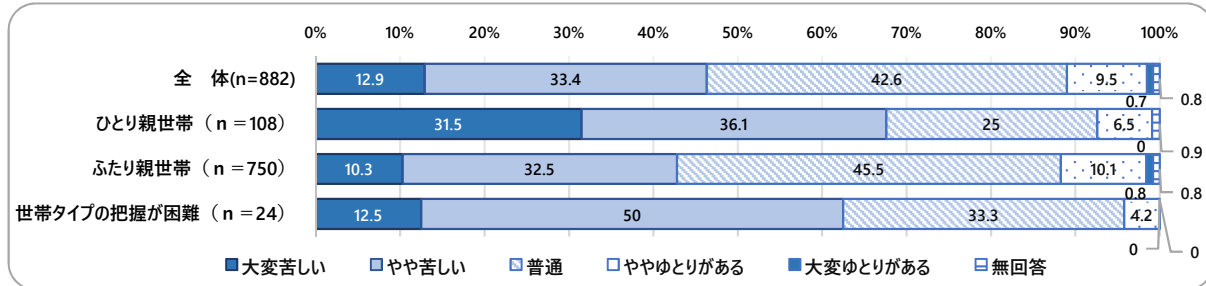
(1) 家計の状況について（保護者回答）

全体では4割強が家計の状況について「やや苦しい」、「大変苦しい」と回答しています。

世帯タイプ別・集計区分別／現在の暮らしの状況／全体

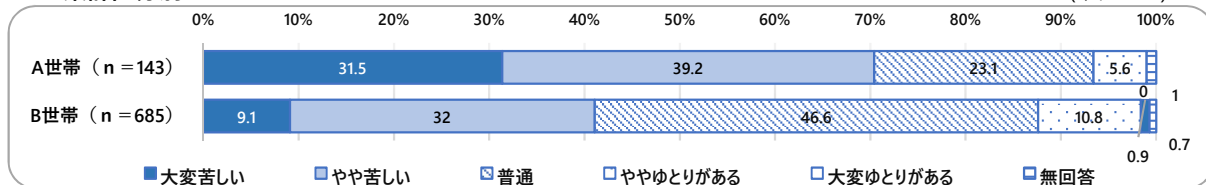
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



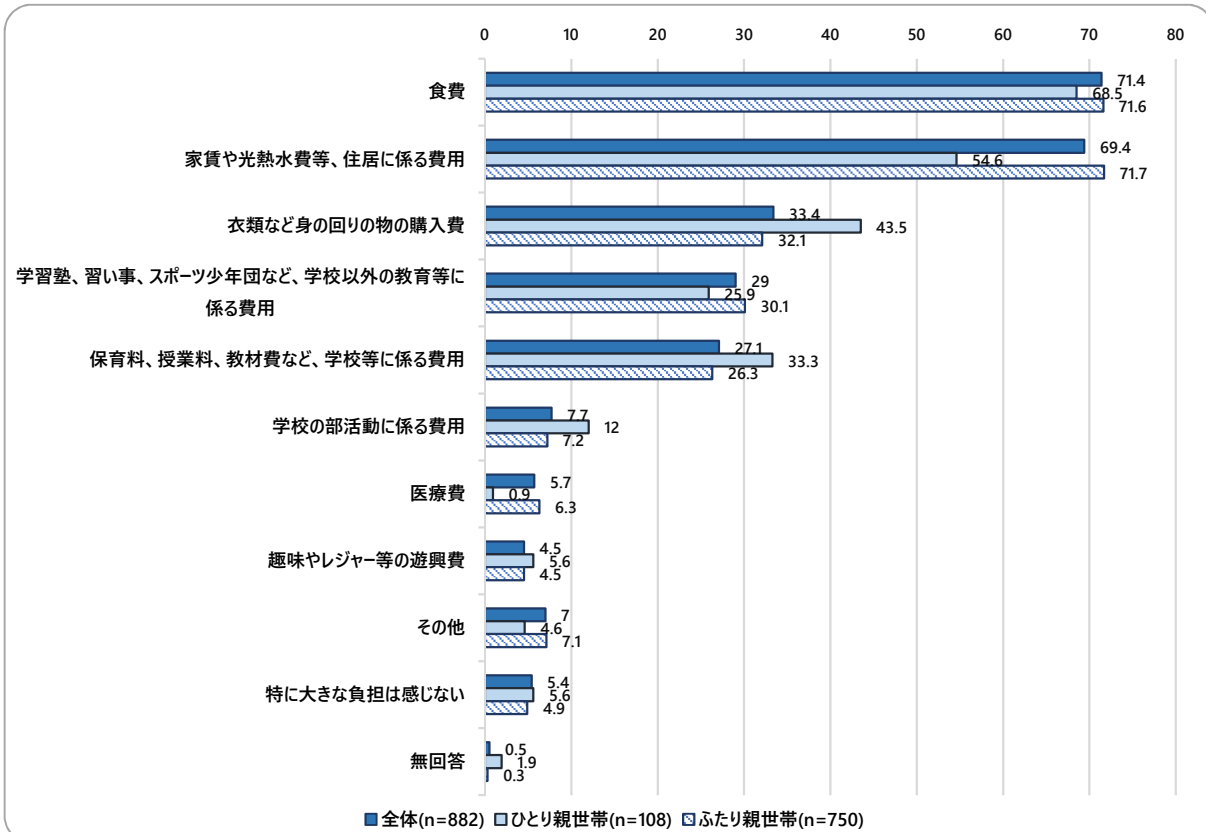
(2) 家計の支出の中で負担が大きいもの（保護者回答）（複数回答）

世帯タイプ別・集計区分別／家計の支出の中で負担が大きいもの／全体

いずれの世帯タイプでも「食費」、「家賃や光熱水費等住居に係る費用」が高い傾向があります。

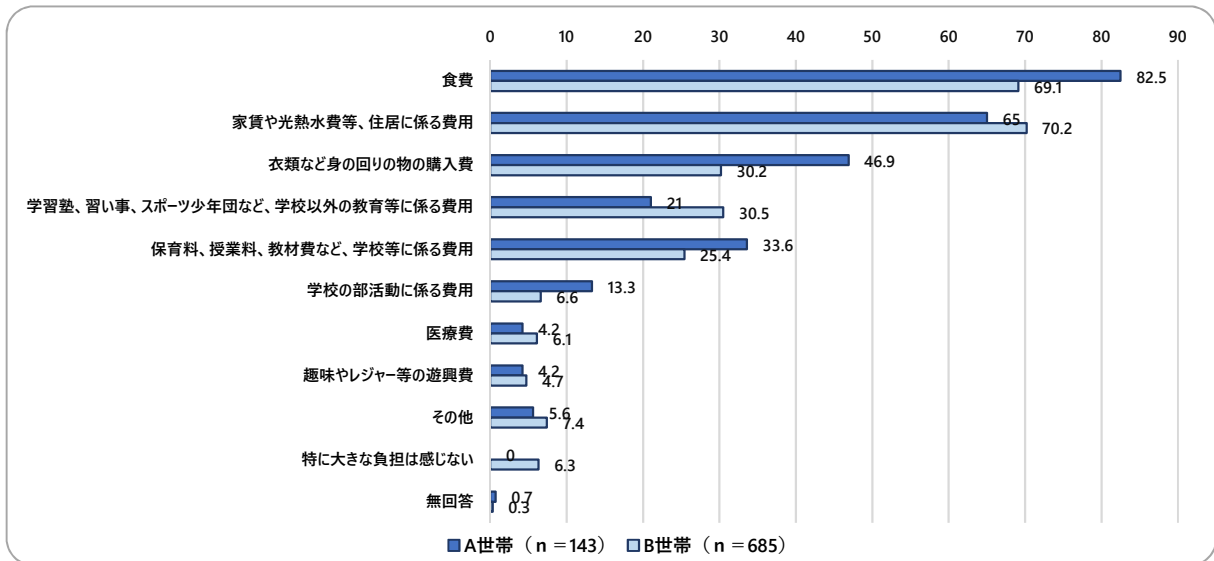
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

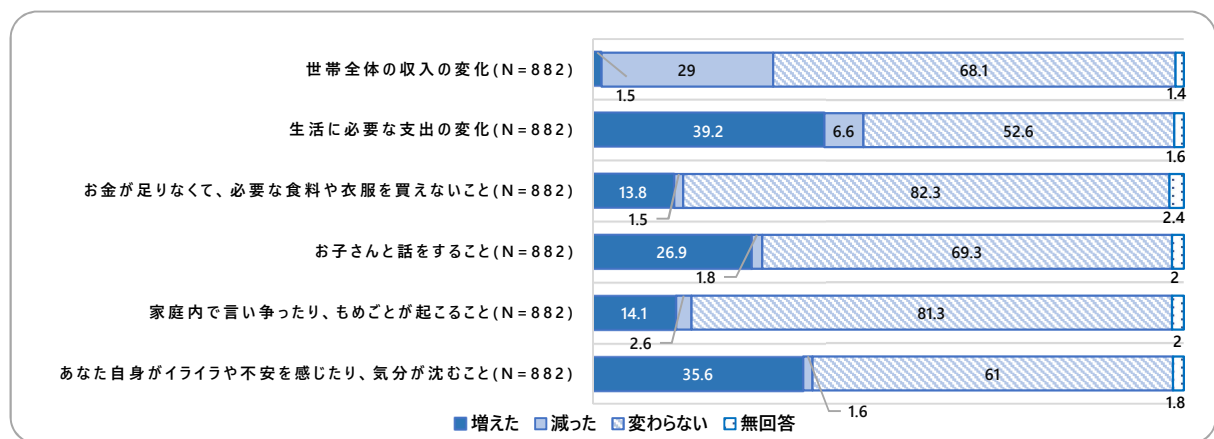


(3) 新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化（保護者回答）

全体では各質問とも「変わらない」が過半数を占めていますが、「収入が減った」が約 3 割います。

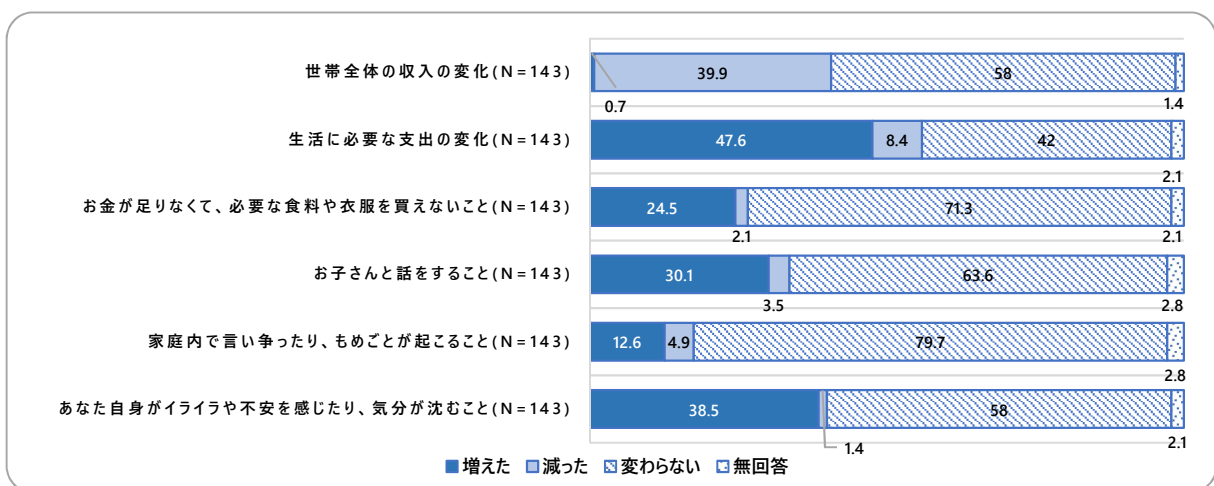
集計区分別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／全体

(単位 = %)



集計区分別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／A世帯

(単位 = %)



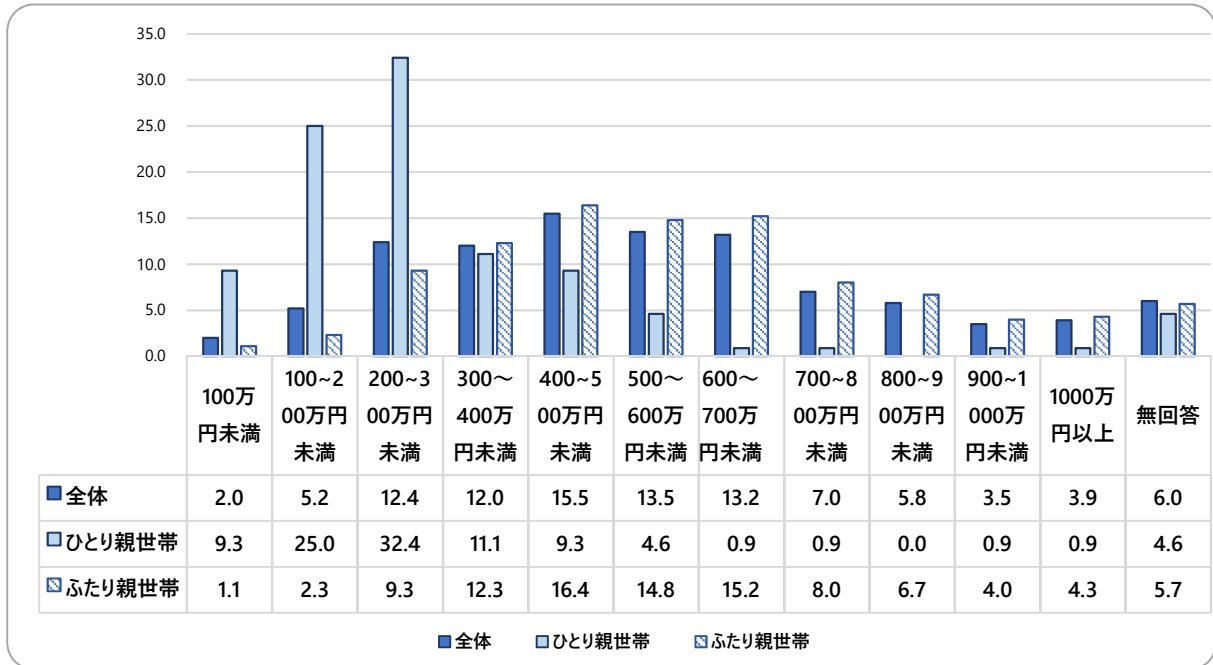
(4) 収入について

令和2年1月～12月の手取り収入

(仕事で得た収入、株式配当などの副収入、年金収入、児童手当などの公的給付金、養育費等を含む。)

全体では「400～500万円未満」が15.5%と最も多くなっています。

全体 n = 882、ひとり親世帯 n = 108、ふたり親世帯 n = 750 (枠内：%)



2 子どもの状況

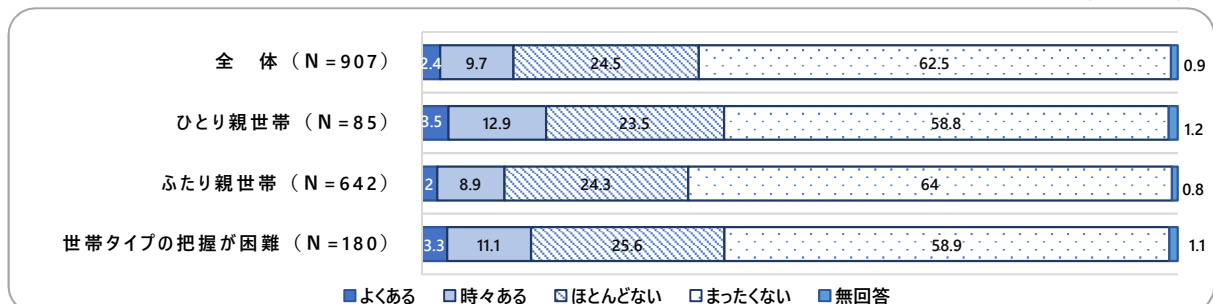
(1) 学校の勉強や学習面について

① 勉強で必要なものがすぐには買ってもらえないことの有無／全体

全体では、「まったくない」、「ほとんどない」が8割を超えています、「ときどきある」、「よくある」も1割程度います。

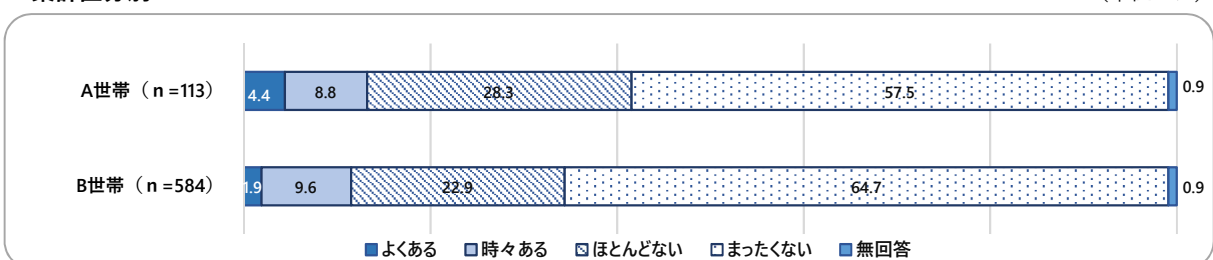
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

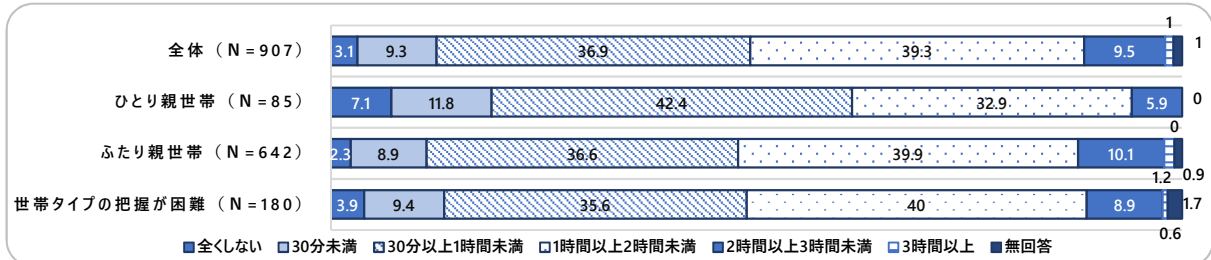


② 平日の学校の授業以外の勉強時間／全体

どの世帯タイプも「30分以上1時間未満」、「1時間以上2時間未満」が多い傾向があります。

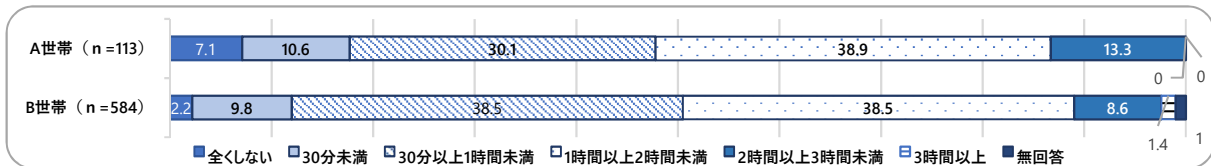
世帯タイプ別

(単位＝％)



集計区分別

(単位＝％)

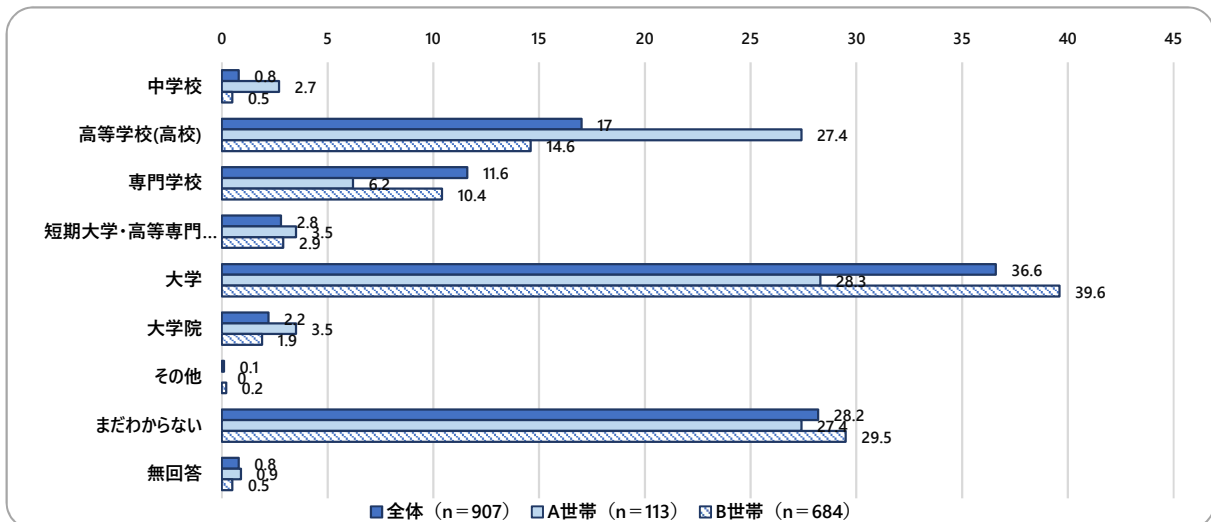


③ 進学の希望 集計世帯別の回答

子どもも保護者も「大学」の希望が一番多い傾向があります。

【子ども】

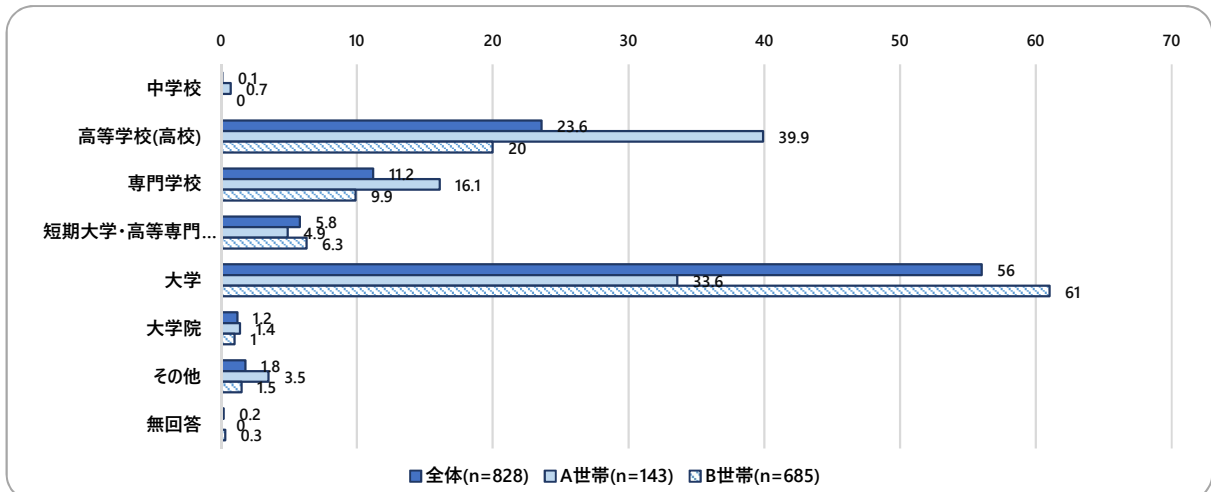
(単位＝％)



※「まだわからない」は子どものみ回答

【保護者】

(単位＝％)

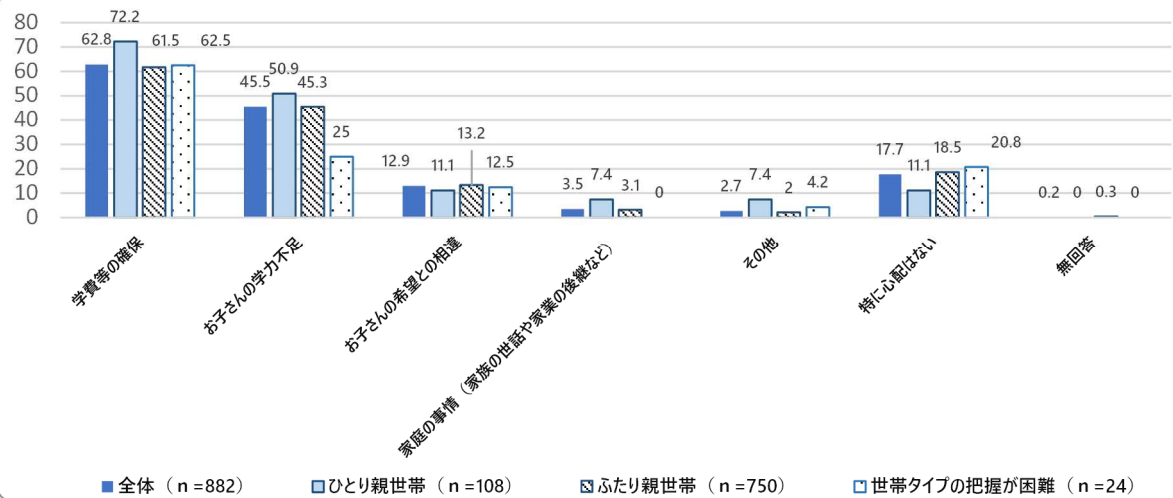


④ 子どもの進学で心配なこと（保護者回答）（複数回答）

「学費等の確保」が6割強となっています。

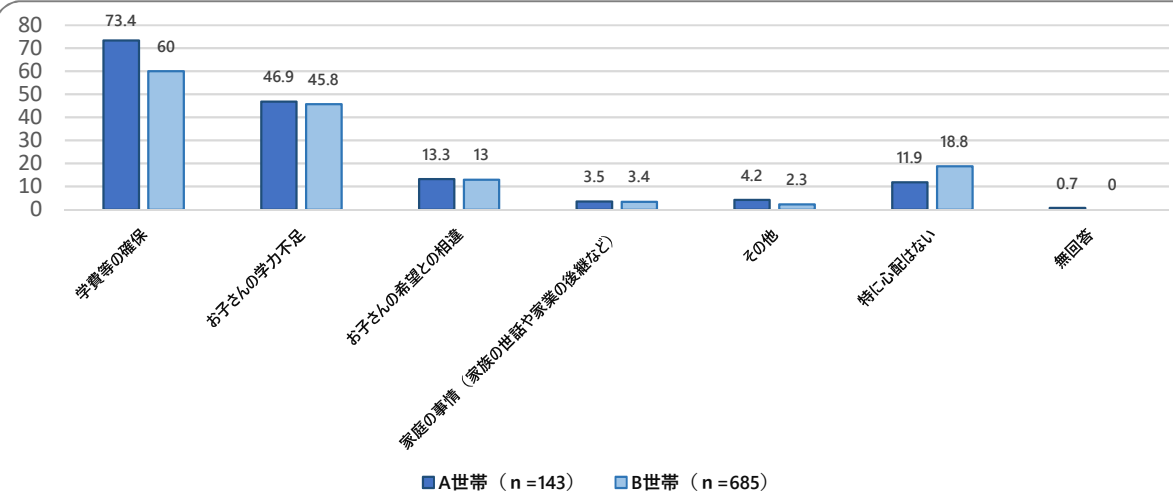
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



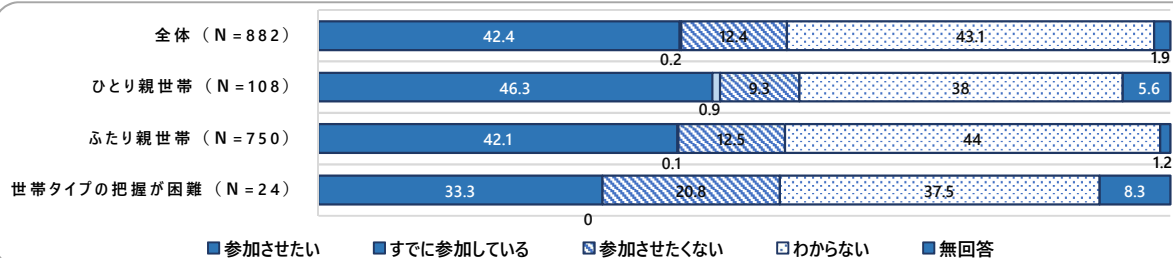
⑤ 学習支援への参加意向

保護者全体では「参加させたい」が4割、子ども全体では「参加したい」が2割強います。

【保護者】

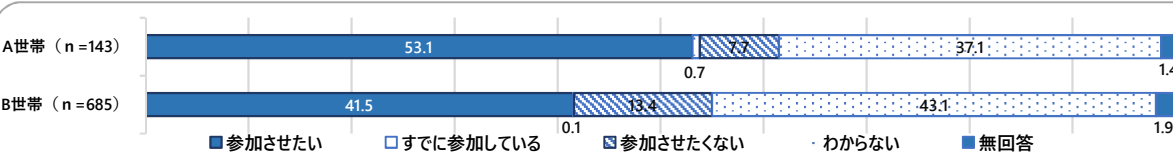
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

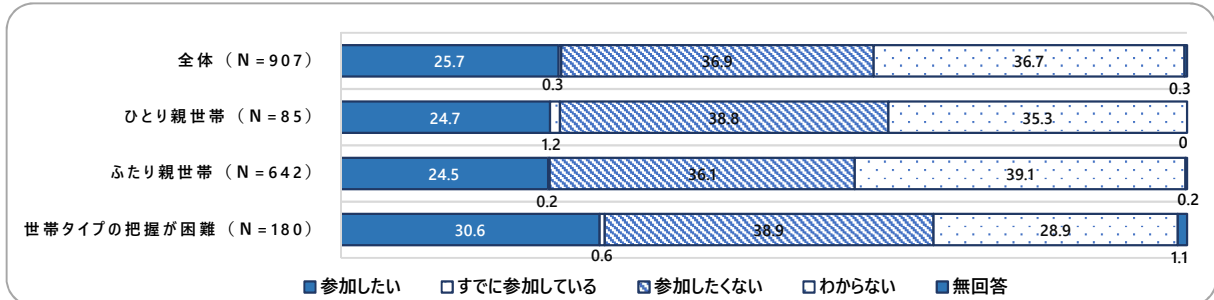
(単位 = %)



【子ども】

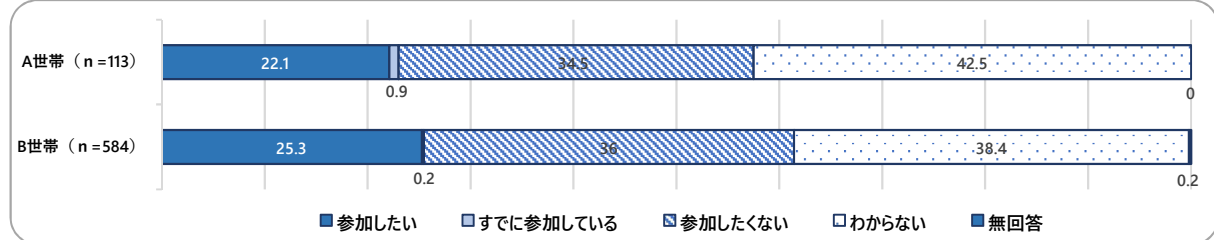
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



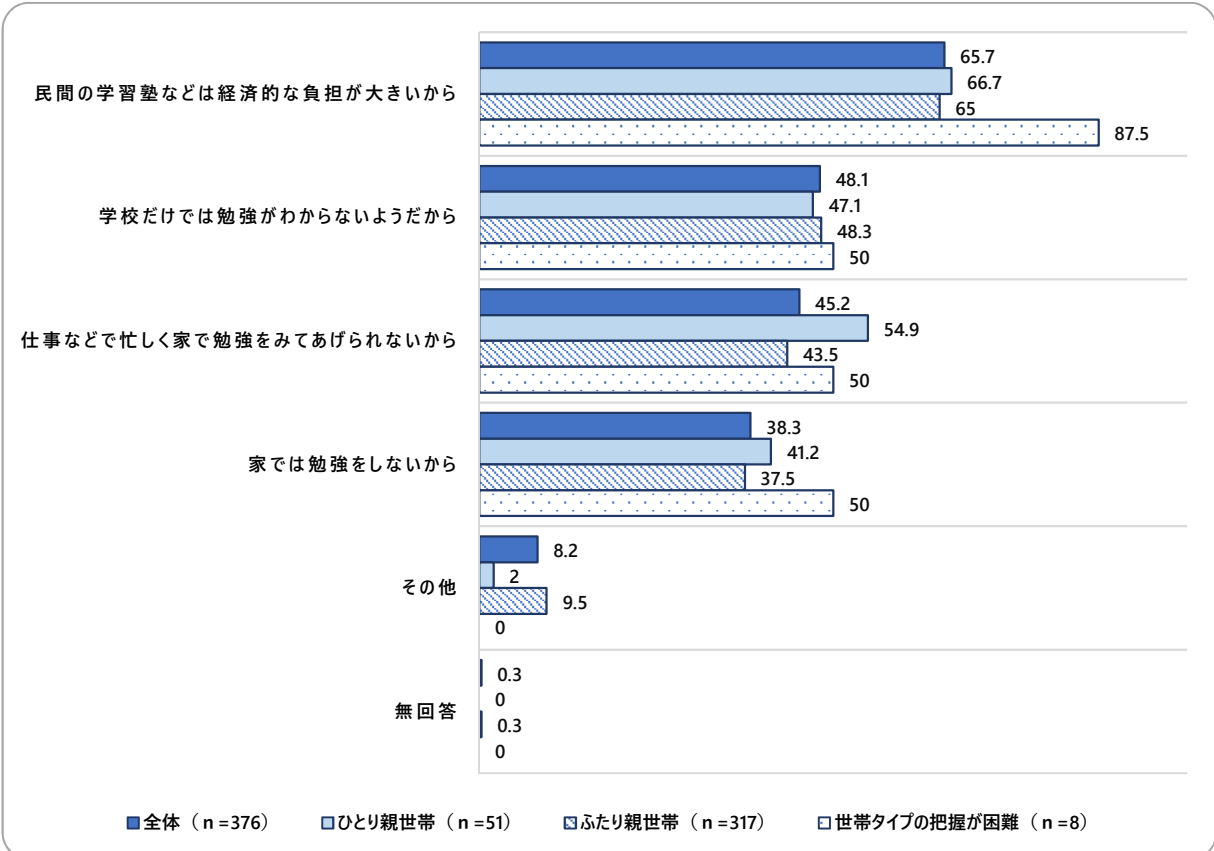
⑥ 学習支援に参加させたい理由 (複数回答)

全体では「民間の学習塾などは経済的な負担が大きいから」が6割を超えています。

【保護者】

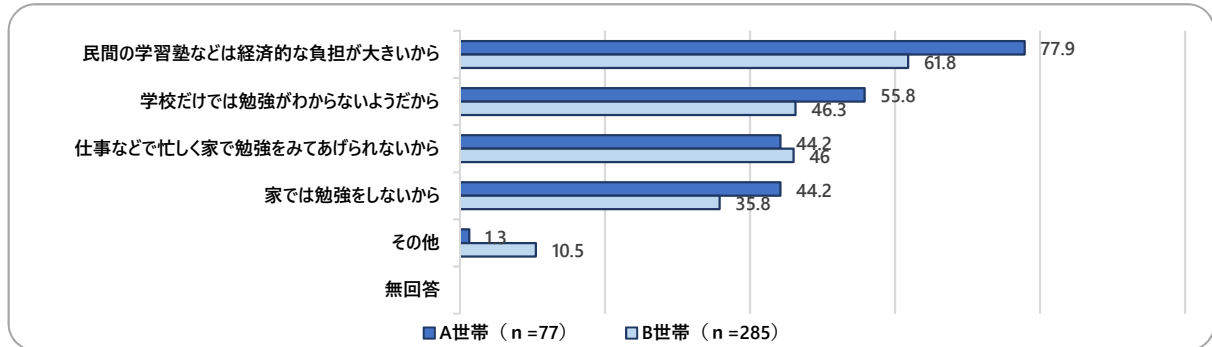
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



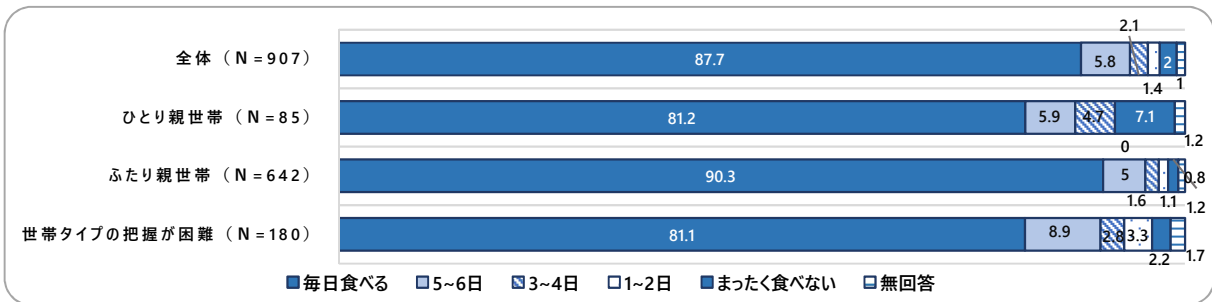
(2) 生活面について

① 週当たりの朝食を食べる頻度／全体

全体で「毎日食べる」が9割近くを占めていますが、食べる頻度が6日以下の子どもは1割程度います。

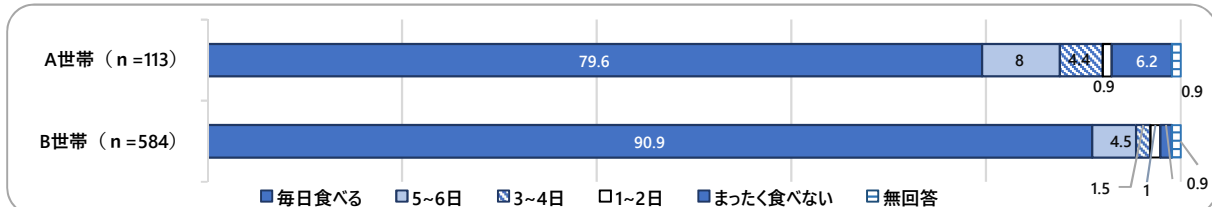
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

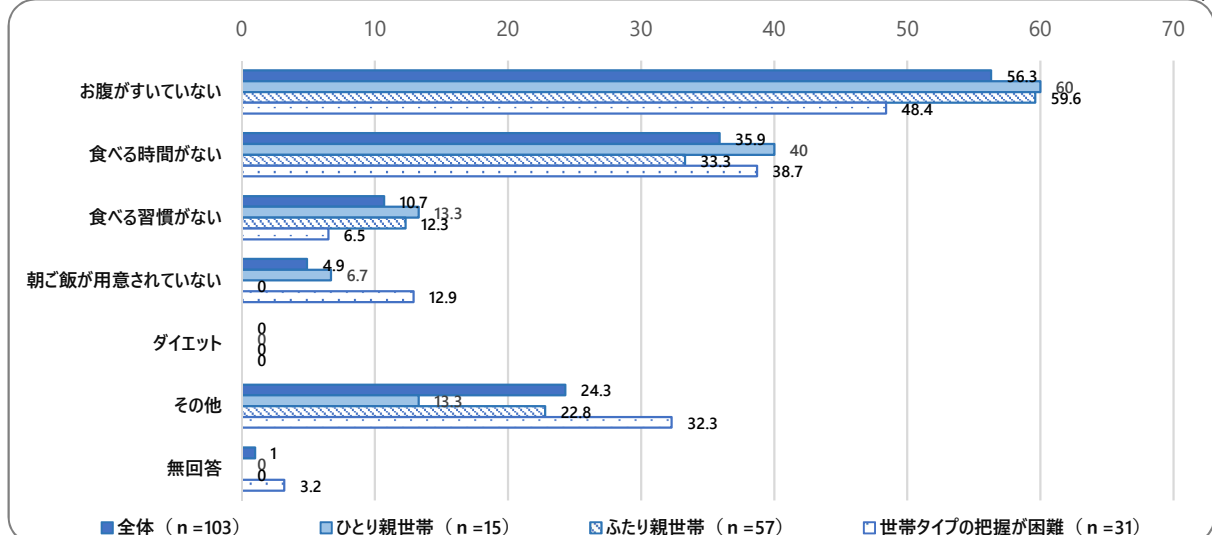


② 朝食を食べない日がある理由／全体 (複数回答)

全体では「お腹がすいていない」が過半数を占めています。

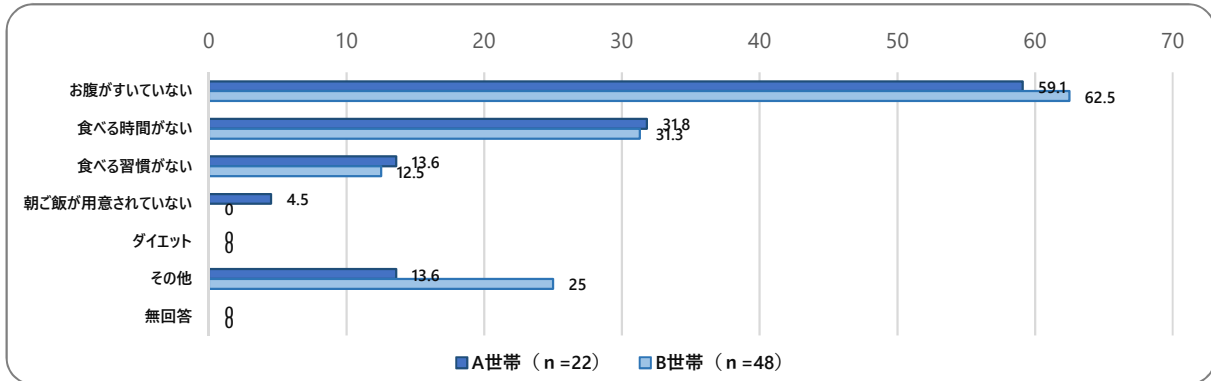
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

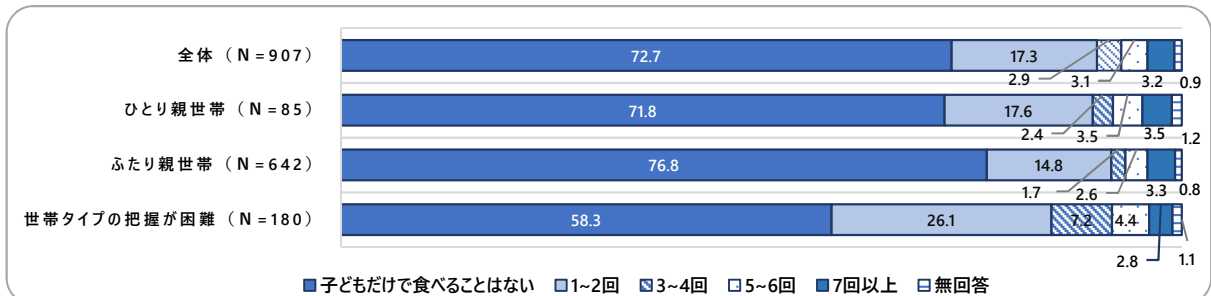


③ 朝食・夕食を自宅で子どもだけで食べる週あたりの頻度

全体では「子どもだけで食べることはない」は7割を超えています。

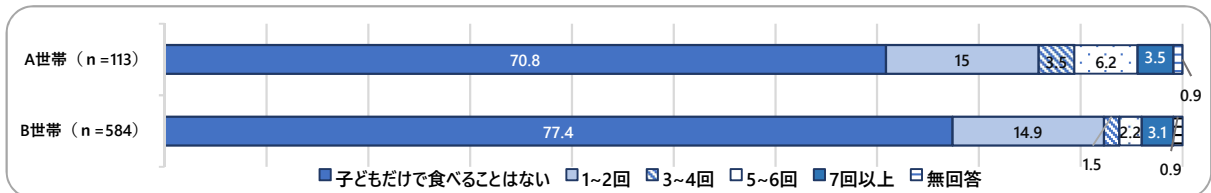
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



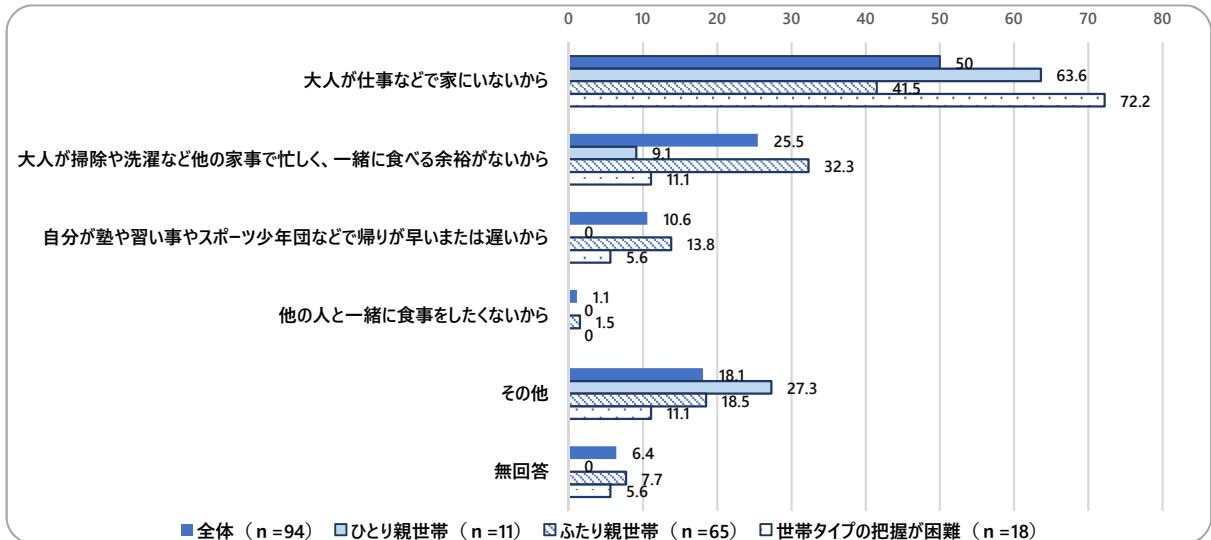
④ 子どもだけでごはんを食べることがある理由 (複数回答)

全体では「大人が仕事などで家にいないから」が50%となっています。

【小学5年生】

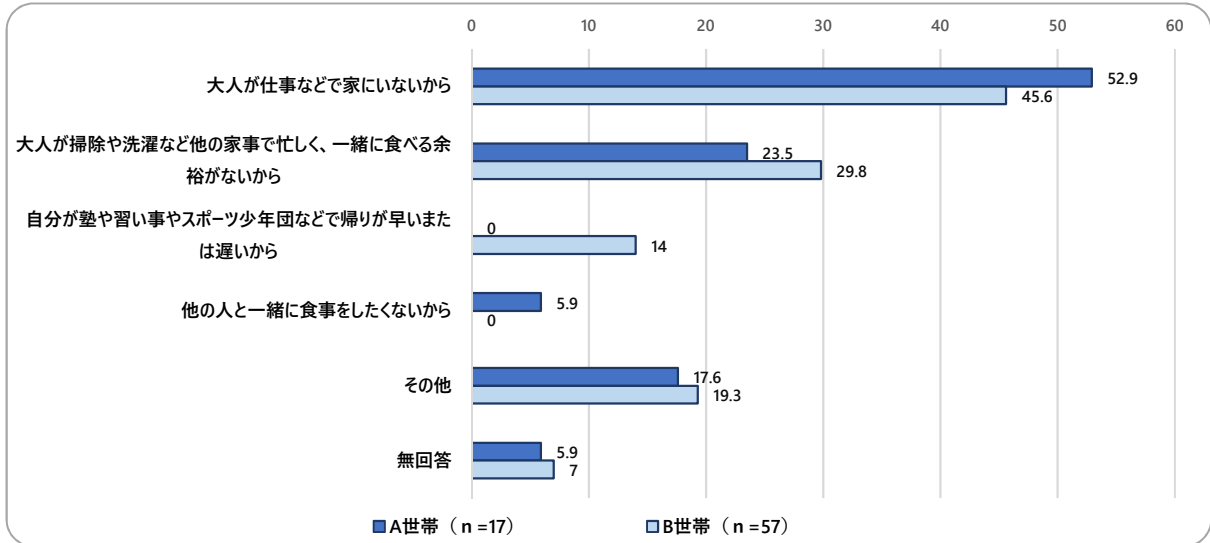
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

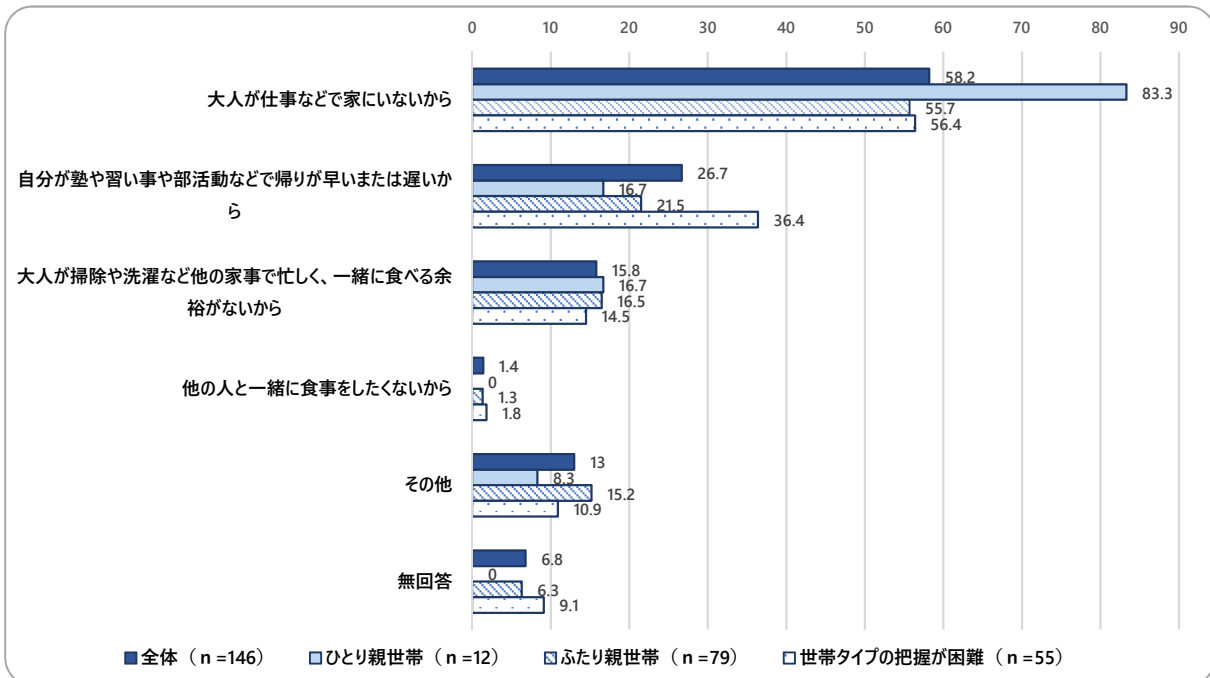
(単位 = %)



【中学2年生】

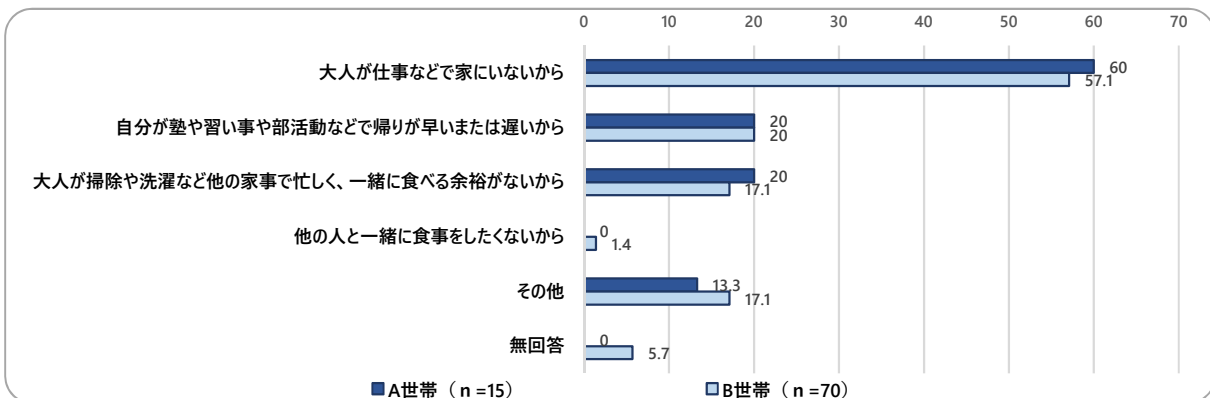
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



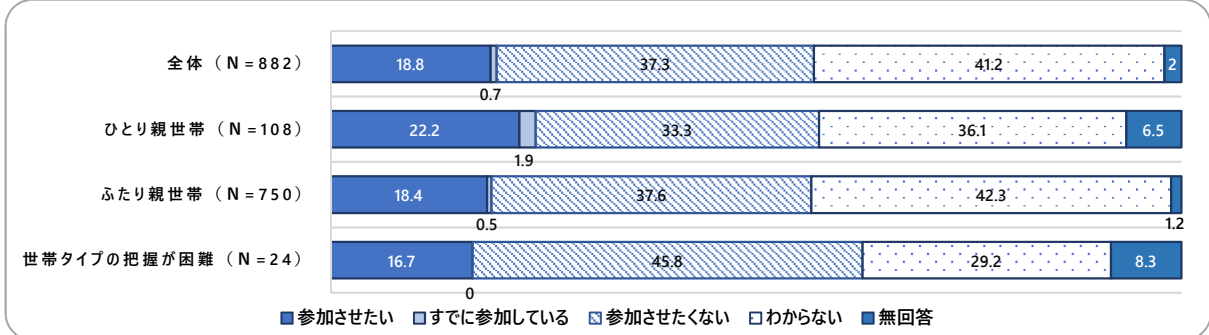
⑤ 子ども食堂への参加意向

保護者全体では「参加させたい」は2割弱います。子ども全体では「参加したい」は3割弱です。

【保護者】

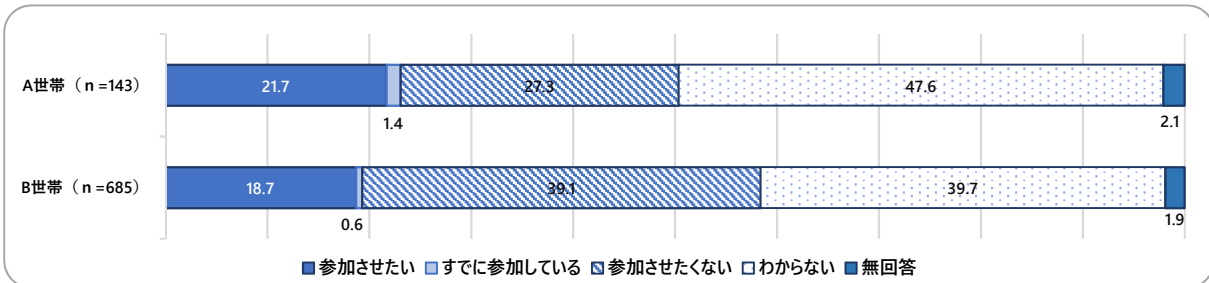
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

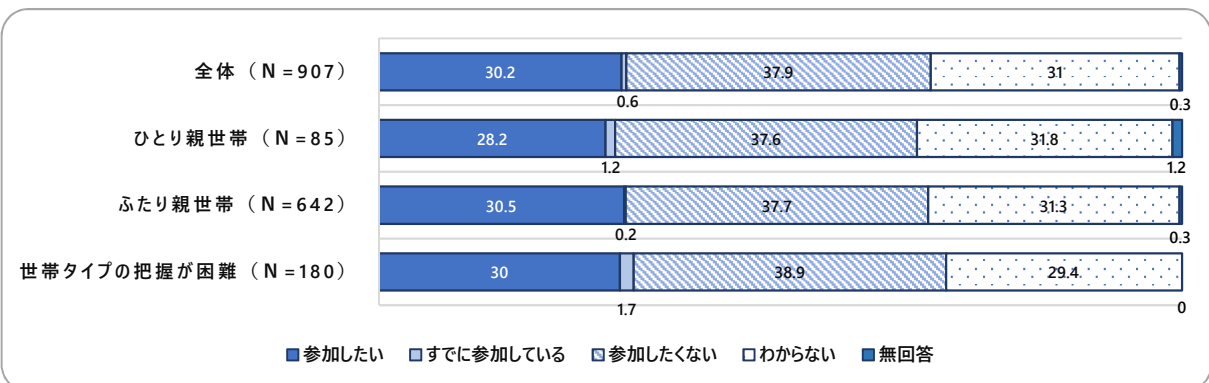
(単位 = %)



【子ども】

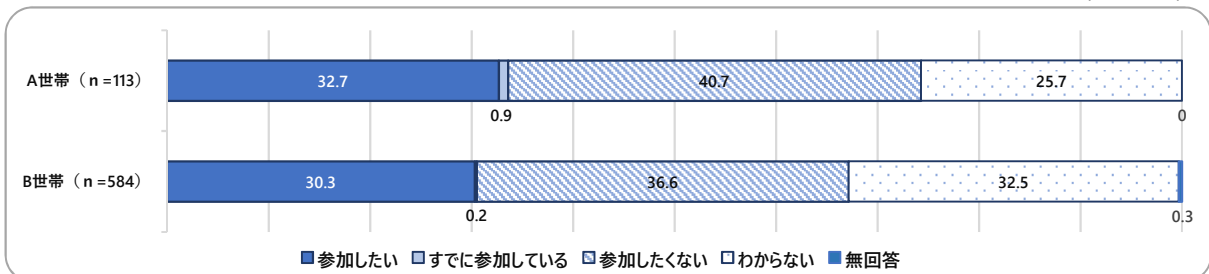
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

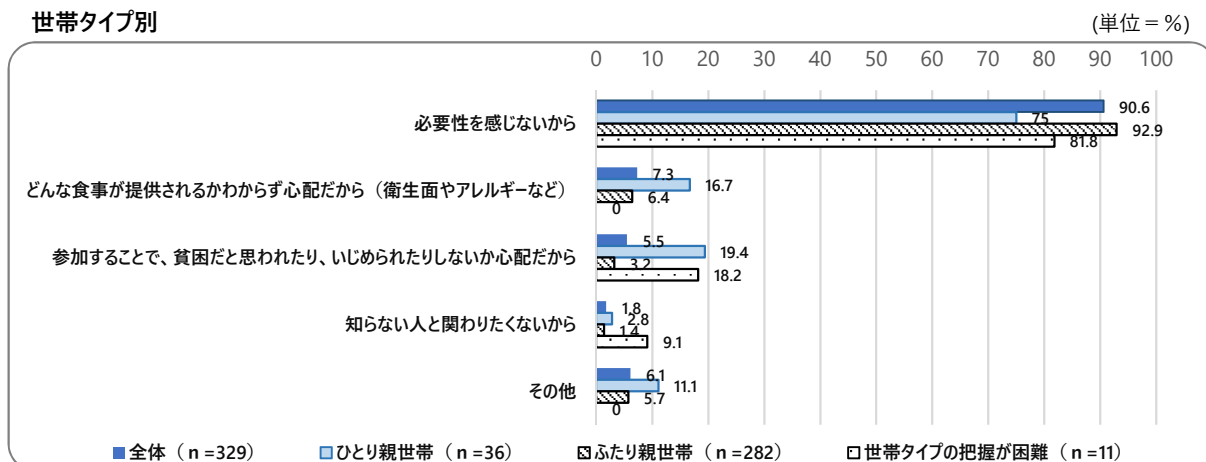


⑥ 子ども食堂への参加させたくない理由（複数回答）

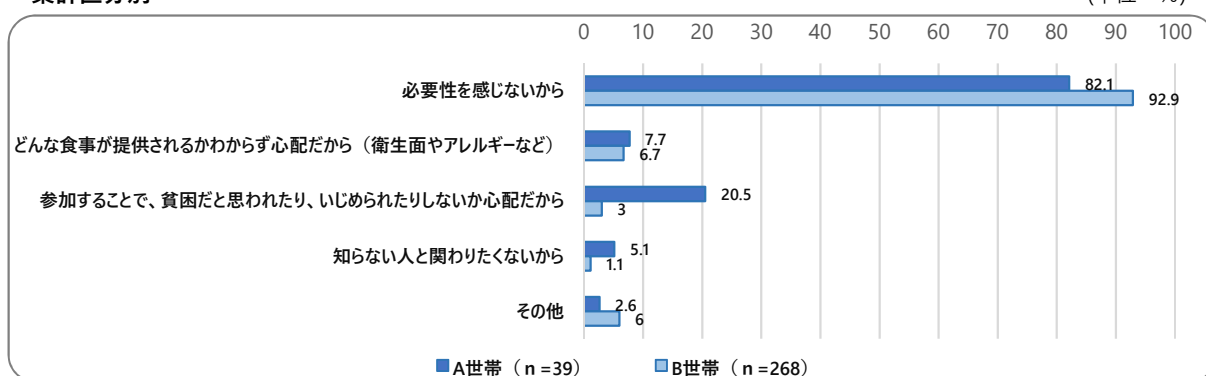
全体では「必要性を感じない」が9割となっています。

【保護者】

世帯タイプ別



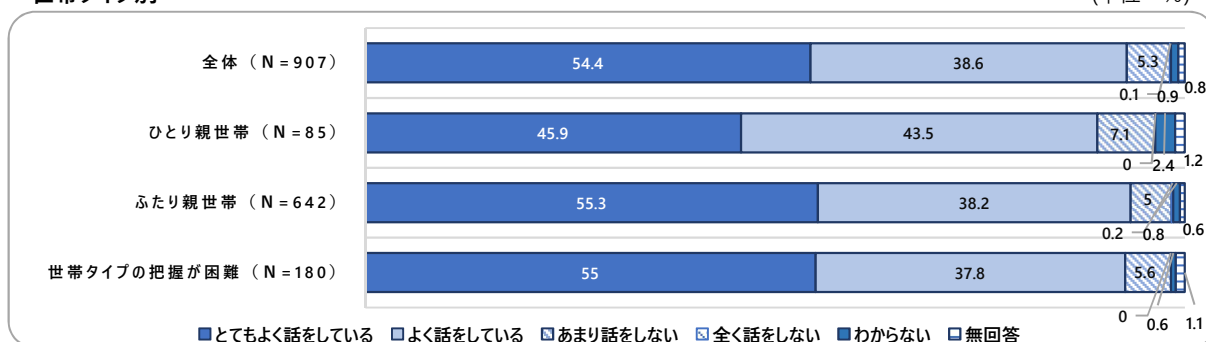
集計区分別



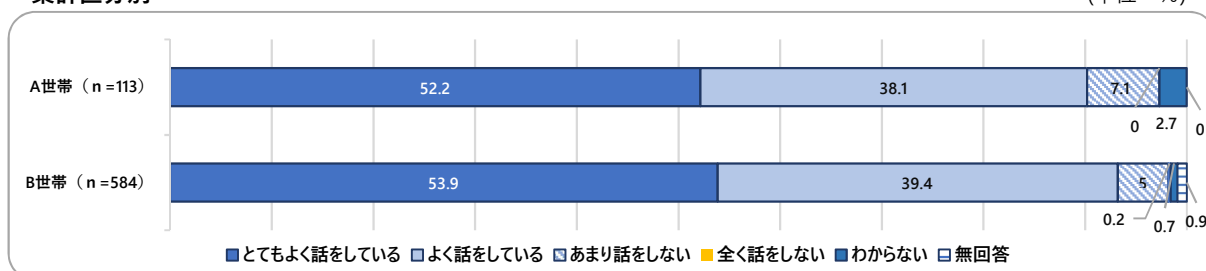
⑦ 世帯タイプ別・集計区分別／家族との会話の頻度／全体

全体では、「とてもよく話している」、「よく話している」が9割を超えています。

世帯タイプ別



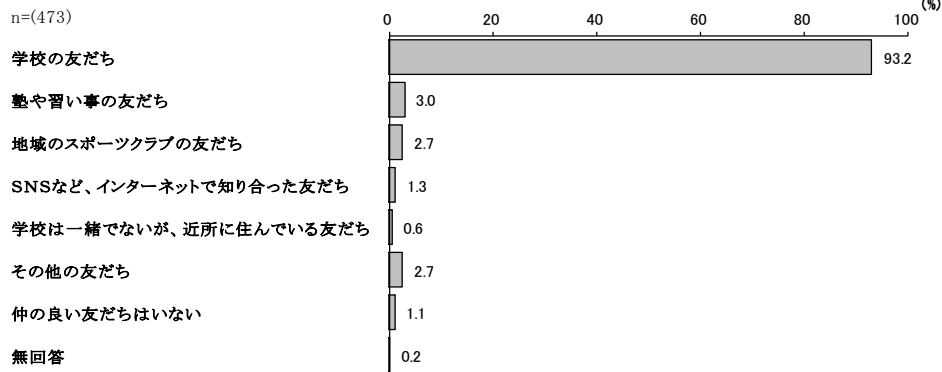
集計区分別



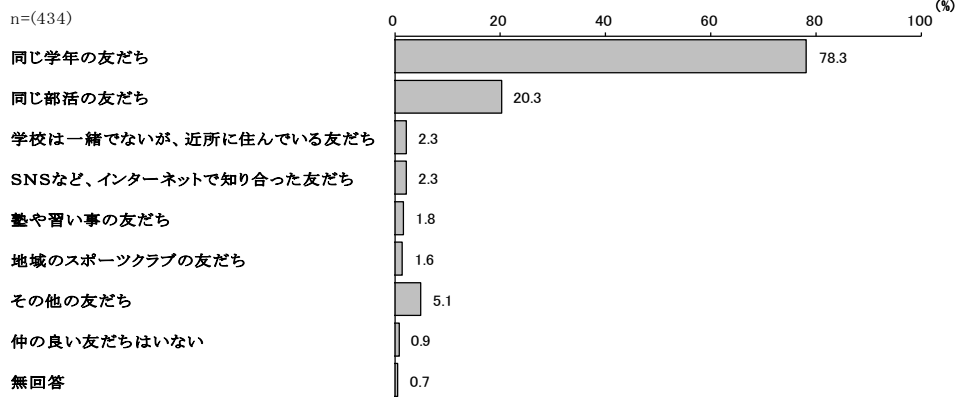
⑧ 一番仲の良い友だち

小学生も中学生も学校関係の友だちが9割を超えています。

小学5年生

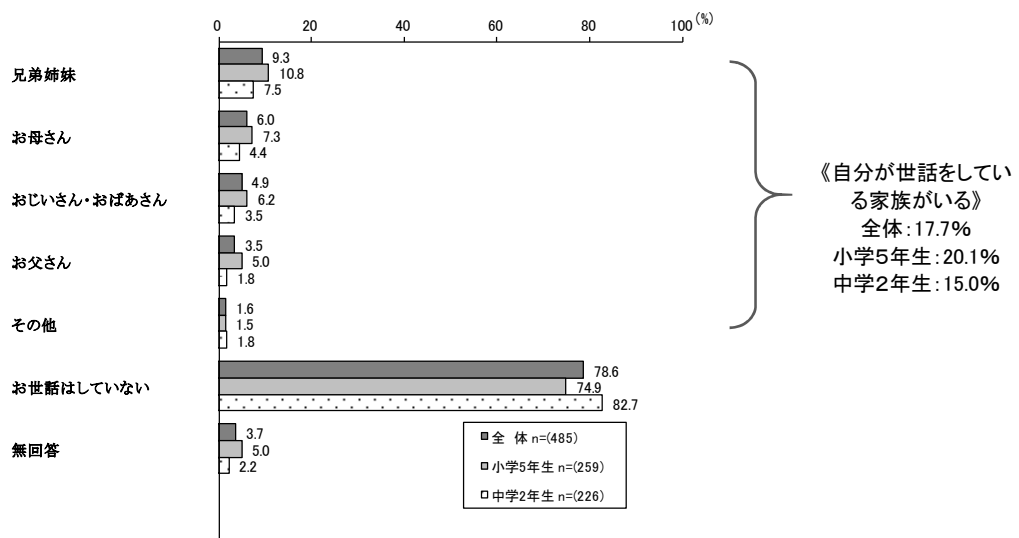


中学2年生



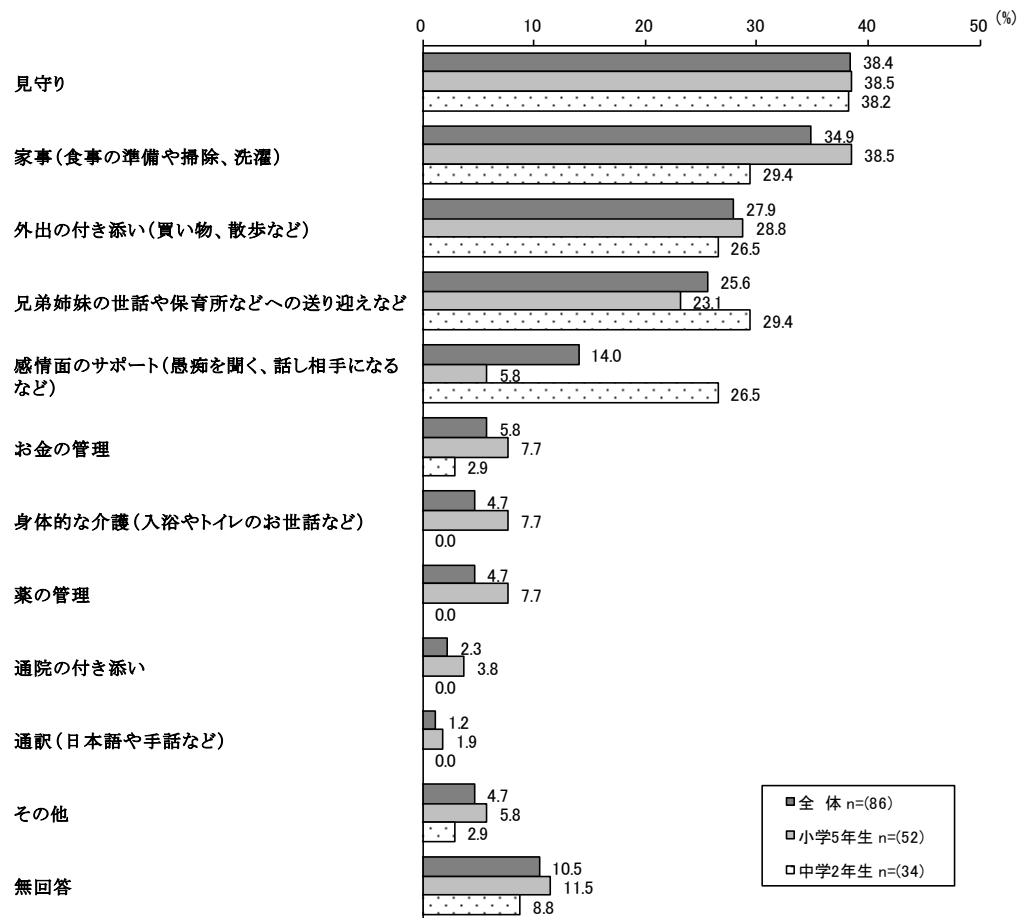
⑨ 自分が世話をしている家族の有無（全体）（複数回答）

子ども全体の17.7%が家族の世話をしていると回答しています。



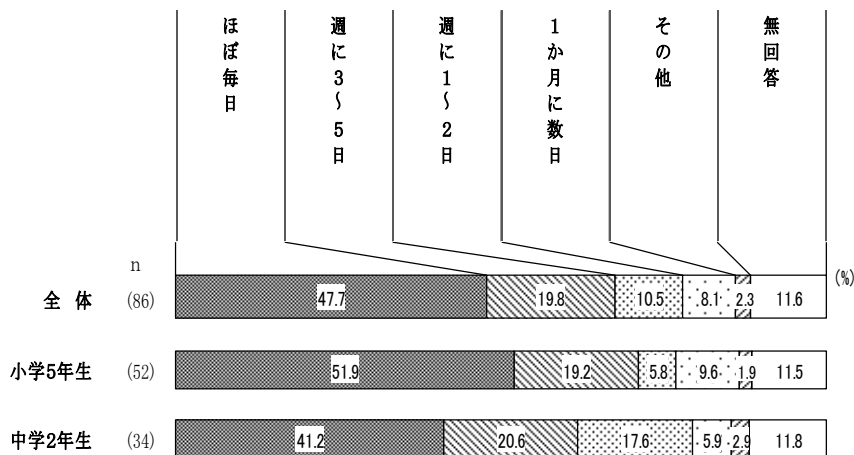
⑩ 行っているお世話の内容

全体では「見守り」、「家事」、「外出の付き添い」などが多いです。



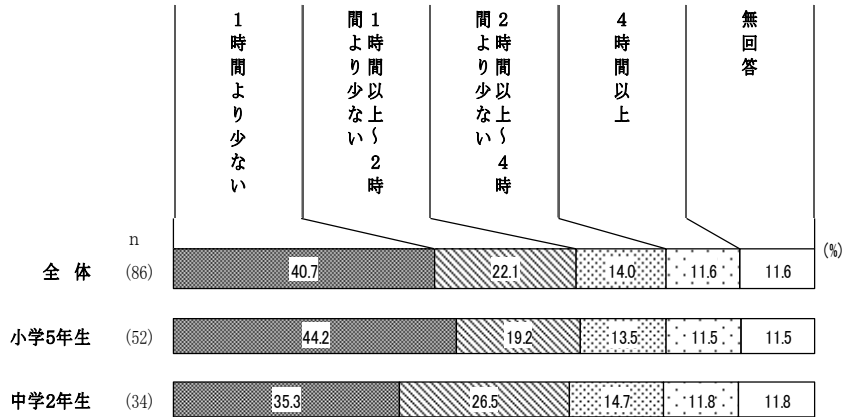
⑪ 子どもがお世話をしている頻度

全体では「ほぼ毎日」が4割強となっています。



⑫ お世話をする1日あたりの時間（全体）

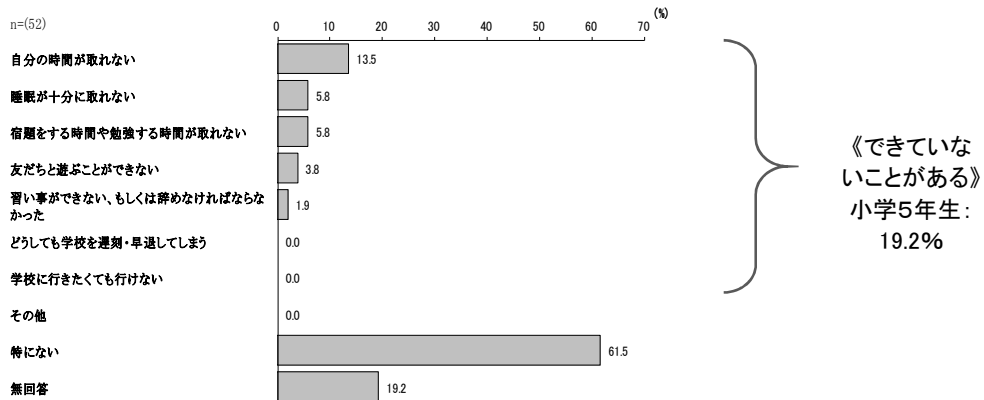
「1時間より少ない」が4割となっています。



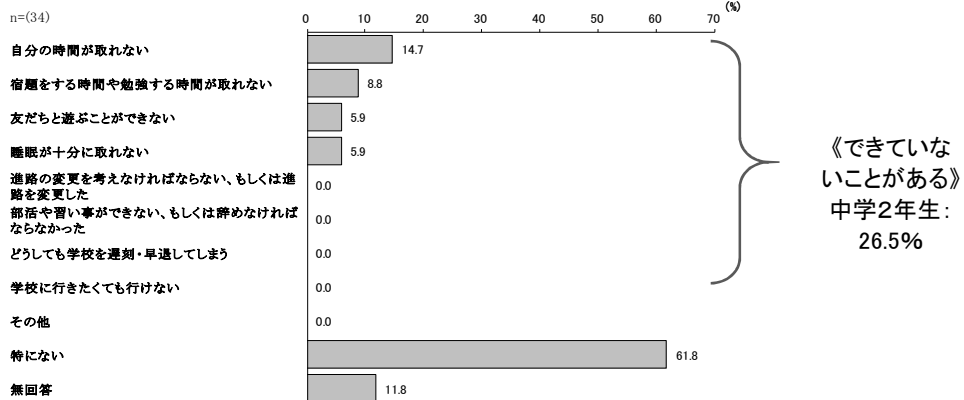
⑬ 家族のお世話をすることでできていないこと（複数回答）

「特になし」が半数を超えています。

小学5年生

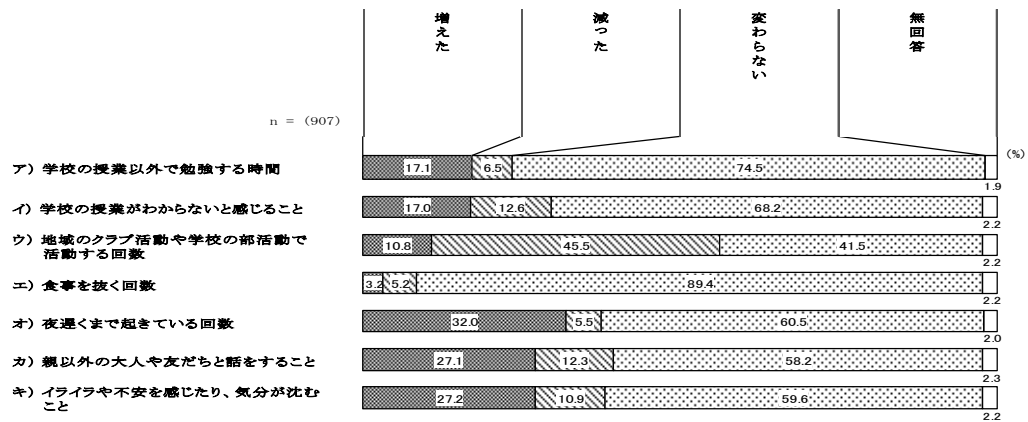


中学2年生



⑭ 新型コロナウイルスの感染拡大前からの変化（全体）

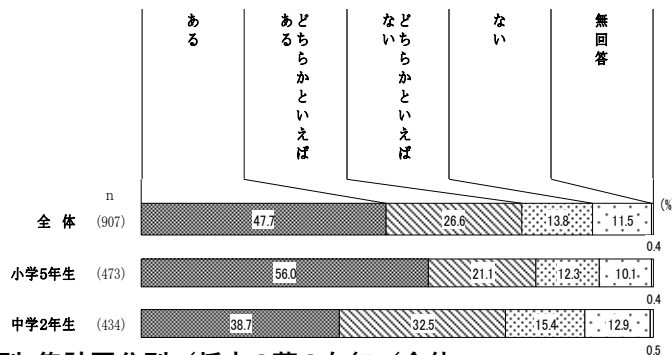
「地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数」以外は「変わらない」が半数以上を占めています。



(3) 考えていることなどについて

① 将来の夢の有無

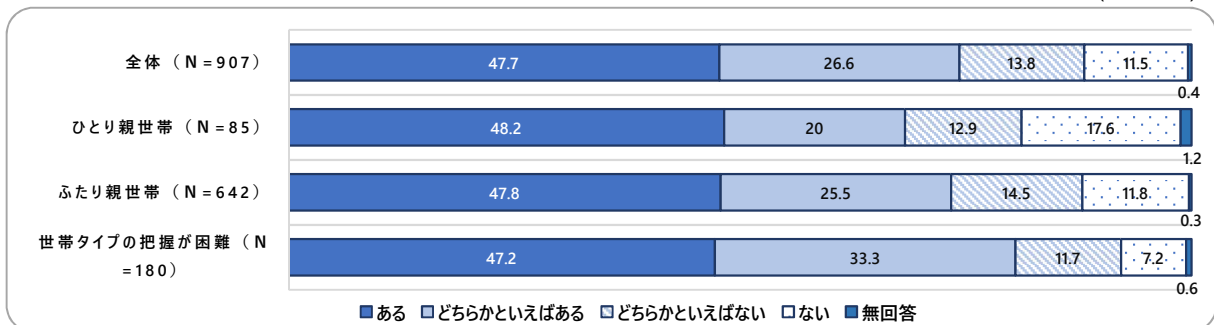
「ある」「どちらかといえばある」で、過半数を超えています。



② 世帯タイプ別・集計区分別／将来の夢の有無／全体

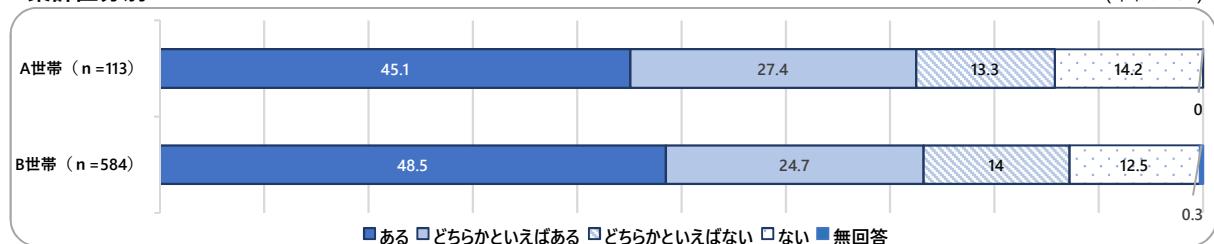
世帯タイプ別

(単位 = %)



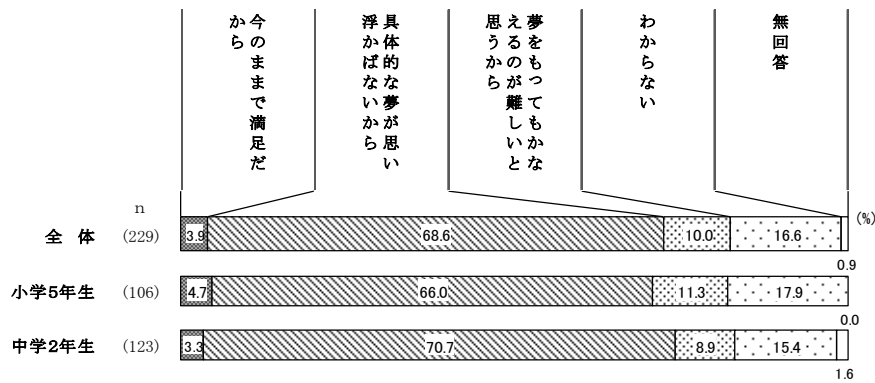
集計区分別

(単位 = %)



③ 将来の夢がない理由

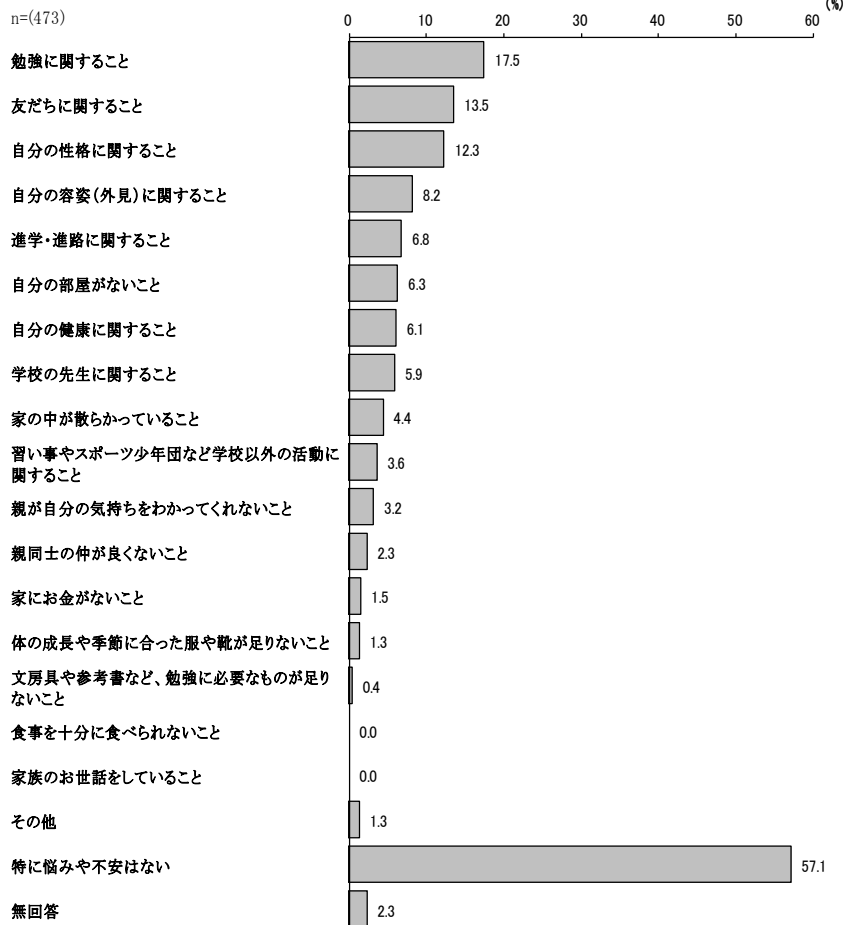
将来の夢がない理由は、「具体的な夢が思い浮かばないから」が6割を超えています。



④ 悩みや不安の有無（子ども回答）（複数回答）

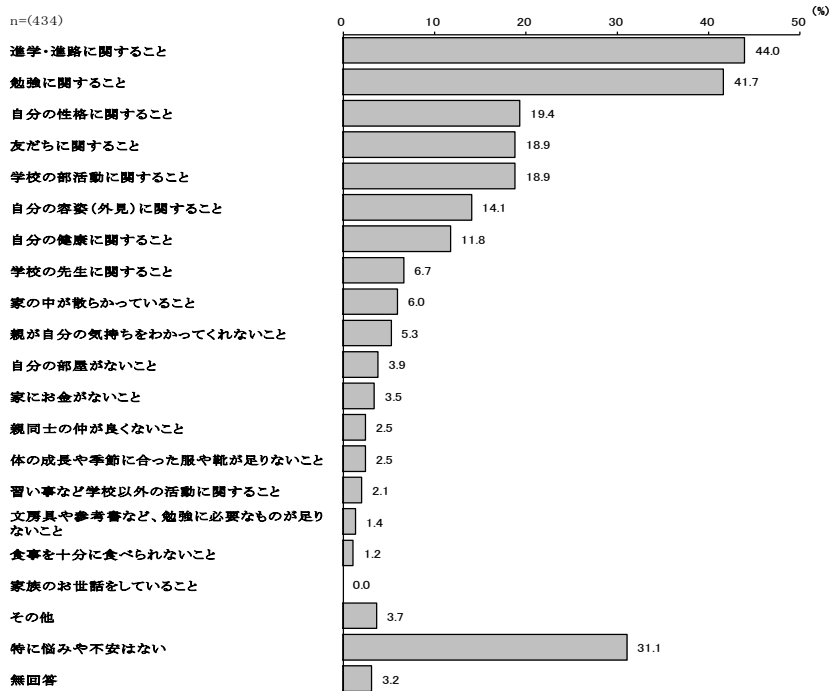
小学生では約6割が悩みや不安はないという回答でしたが、中学生では、約4割が進学、勉強で悩みを抱えています。

小学5年生



中学2年生

n=(434)



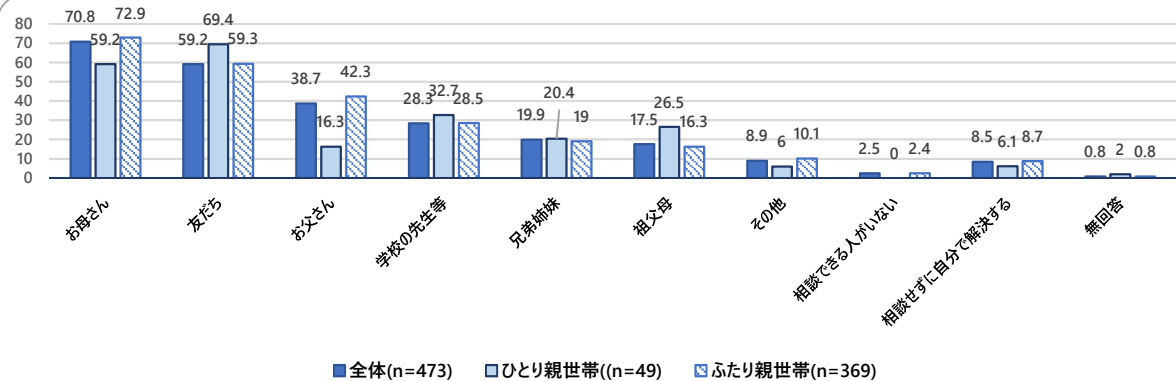
⑤ 世帯タイプ別・集計区分別／悩みや不安の相談相手 (複数回答)

全体では、悩みや不安の相談相手は「お母さん」、「友だち」が過半数を占めています。

【小学5年生】

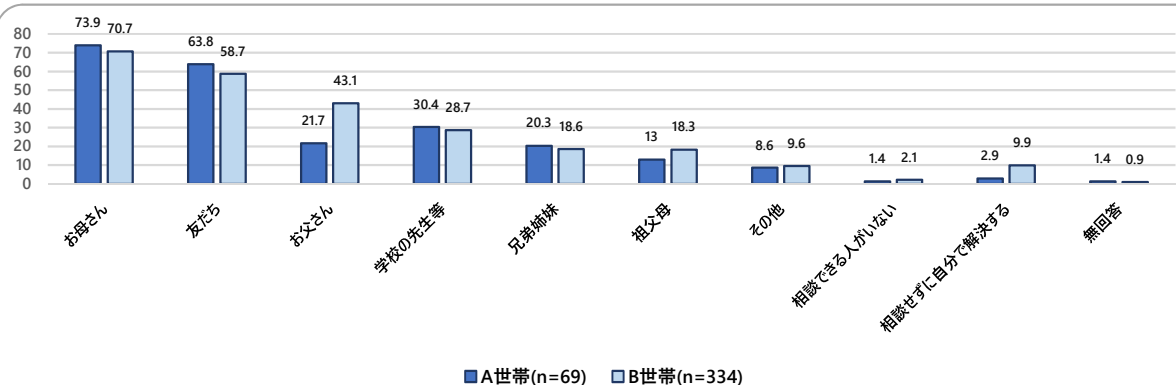
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

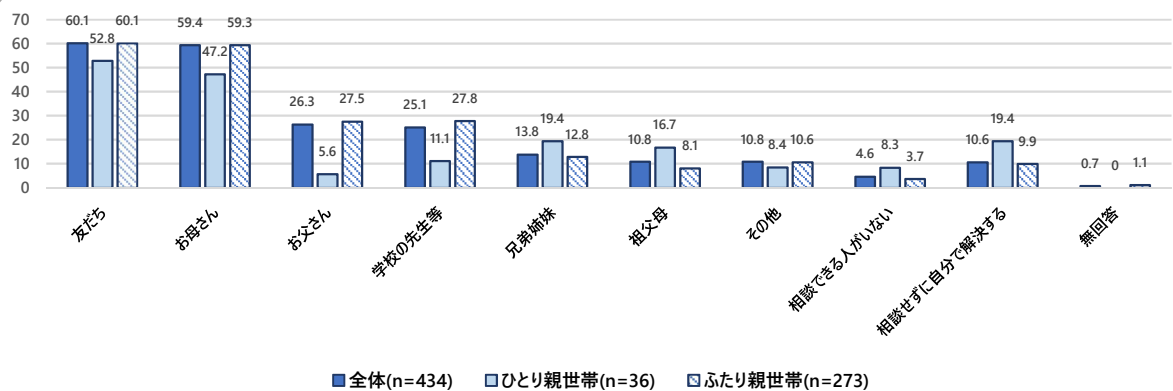
(単位 = %)



【中学2年生】

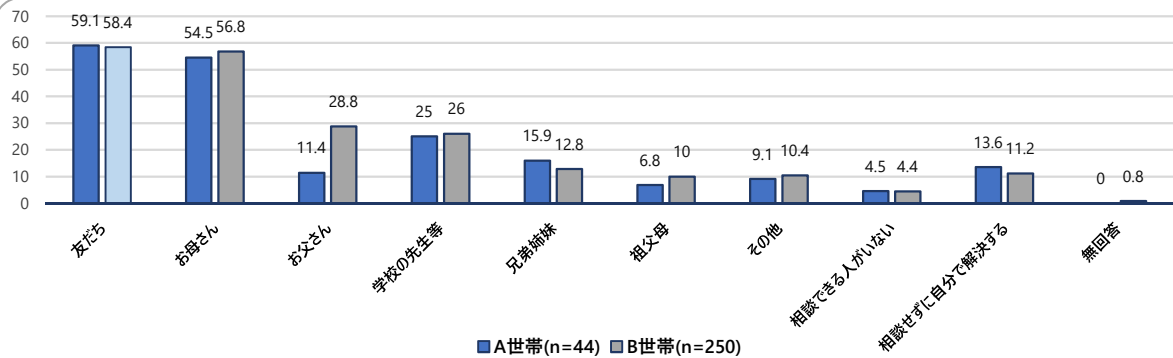
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)



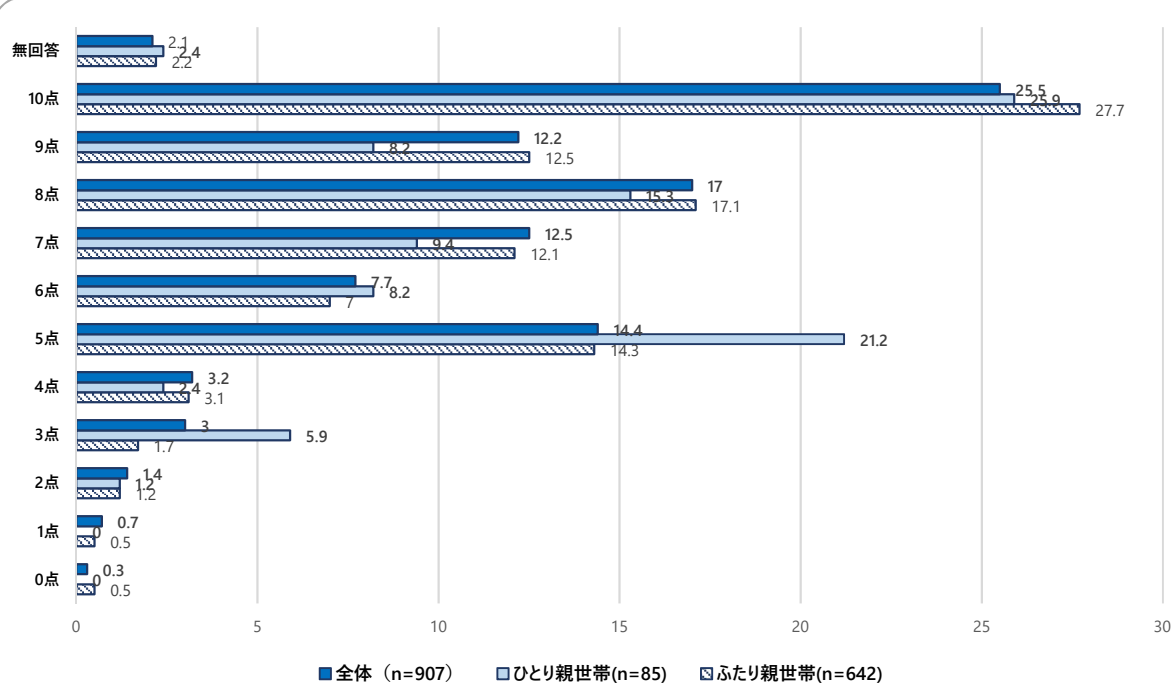
⑥ 最近の生活の満足度／全体

全体では、「10点」が最も多く、「8点」、「5点」の順に続きます。

【子ども】

世帯タイプ別

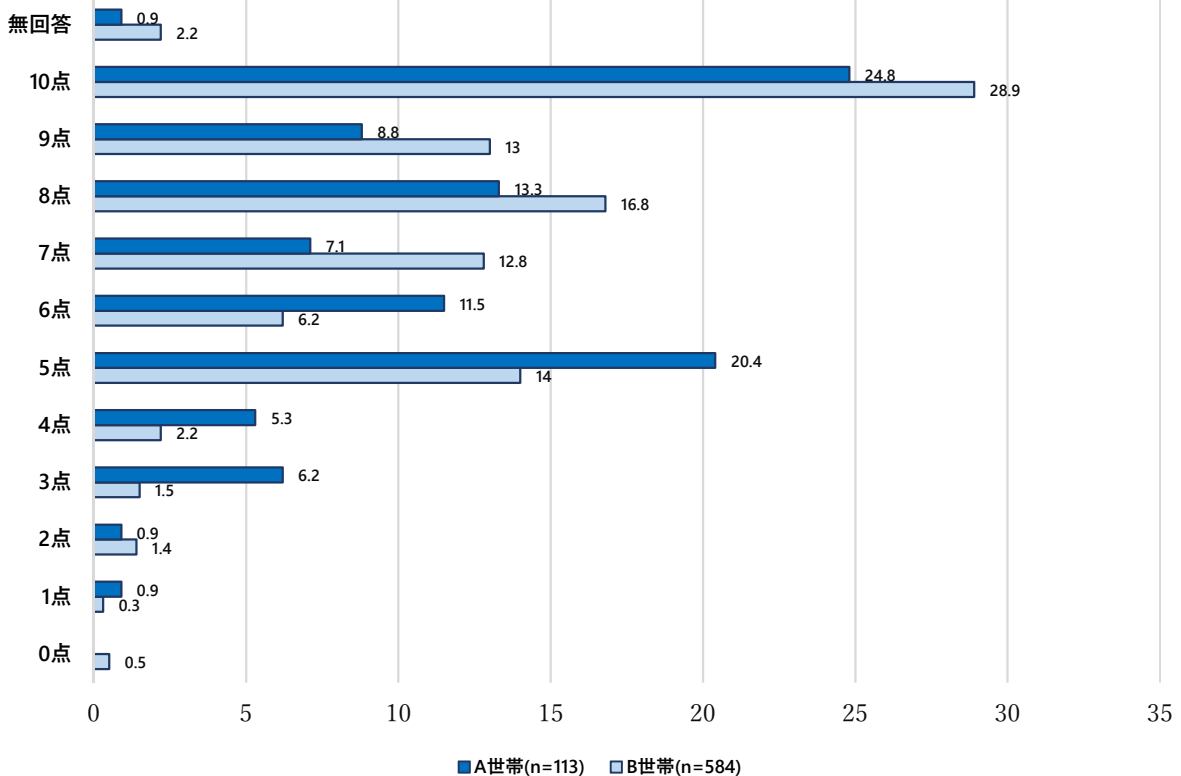
(単位 = %)



(上段：件 下段：%)														(点)
	調査数	0点（まったく満足していない）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（十分に満足している）	無回答	平均
全 体	907 100.0	3 0.3	6 0.7	13 1.4	27 3.0	29 3.2	131 14.4	70 7.7	113 12.5	154 17.0	111 12.2	231 25.5	19 2.1	7.47
世帯タイプ（3区分）														
ひとり親世帯	85 100.0	- -	- -	1 1.2	5 5.9	2 2.4	18 21.2	7 8.2	8 9.4	13 15.3	7 8.2	22 25.9	2 2.4	7.23
ふたり親世帯	642 100.0	3 0.5	3 0.5	8 1.2	11 1.7	20 3.1	92 14.3	45 7.0	78 12.1	110 17.1	80 12.5	178 27.7	14 2.2	7.62
世帯タイプの把握が困難	180 100.0	- -	3 1.7	4 2.2	11 6.1	7 3.9	21 11.7	18 10.0	27 15.0	31 17.2	24 13.3	31 17.2	3 1.7	7.05
世帯タイプ（5区分）														
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	56 100.0	- -	- -	1 1.8	2 3.6	- -	14 25.0	4 7.1	6 10.7	12 21.4	5 8.9	11 19.6	1 1.8	7.18
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	29 100.0	- -	- -	- -	3 10.3	2 6.9	4 13.8	3 10.3	2 6.9	1 3.4	2 6.9	11 37.9	1 3.4	7.32
ふたり親世帯（共働き）	586 100.0	3 0.5	2 0.3	7 1.2	10 1.7	19 3.2	82 14.0	41 7.0	75 12.8	99 16.9	72 12.3	164 28.0	12 2.0	7.64
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	56 100.0	- -	1 1.8	1 1.8	1 1.8	1 1.8	10 17.9	4 7.1	3 5.4	11 19.6	8 14.3	14 25.0	2 3.6	7.50
世帯タイプの把握が困難	180 100.0	- -	3 1.7	4 2.2	11 6.1	7 3.9	21 11.7	18 10.0	27 15.0	31 17.2	24 13.3	31 17.2	3 1.7	7.05
集計区分														
A世帯	113 100.0	- -	1 0.9	1 0.9	7 6.2	6 5.3	23 20.4	13 11.5	8 7.1	15 13.3	10 8.8	28 24.8	1 0.9	7.03
B世帯	584 100.0	3 0.5	2 0.3	8 1.4	9 1.5	13 2.2	82 14.0	36 6.2	75 12.8	98 16.8	76 13.0	169 28.9	13 2.2	7.72

集計区分別

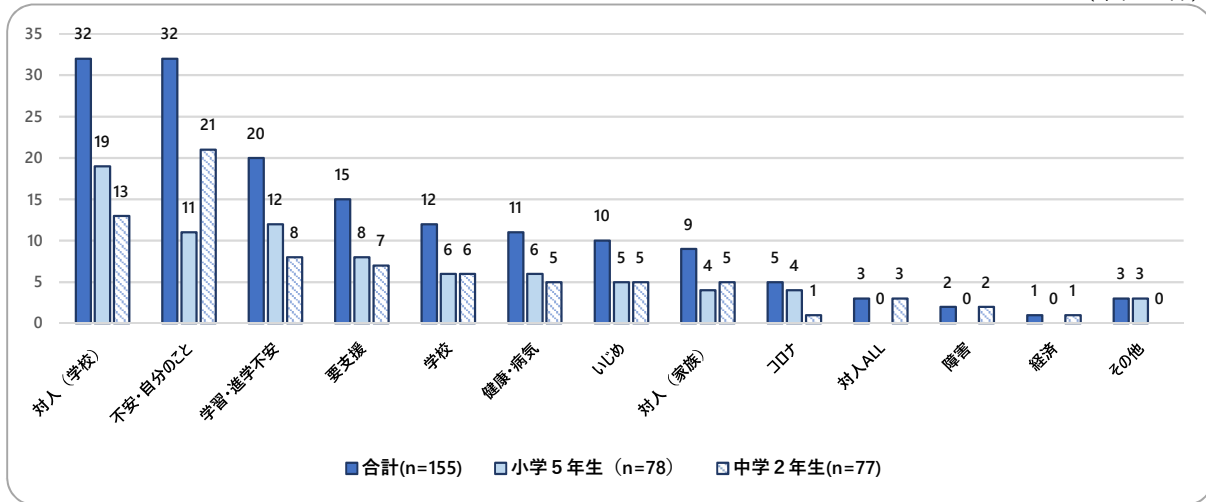
(単位=%)



⑦ 不安や悩みごとなど（自由意見）

全体では「対人（学校）」、「不安・自分のこと」が最も多いです。

（単位：件）

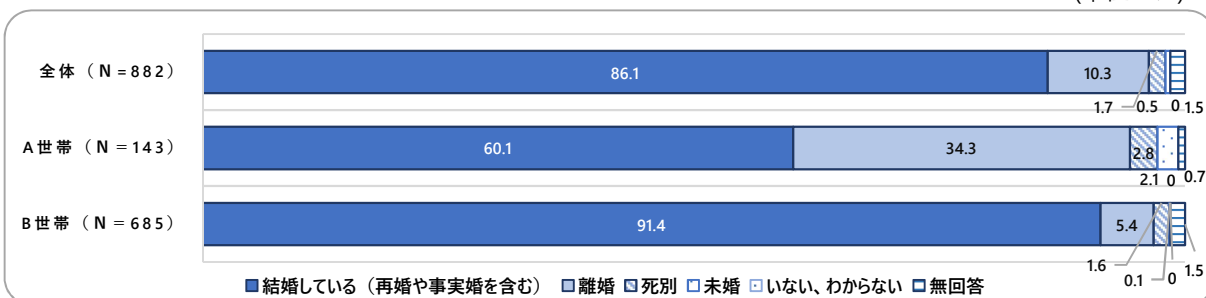


3 保護者の状況

(1) 親の婚姻状況（保護者の回答）

全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が8割以上となっています。

（単位＝％）

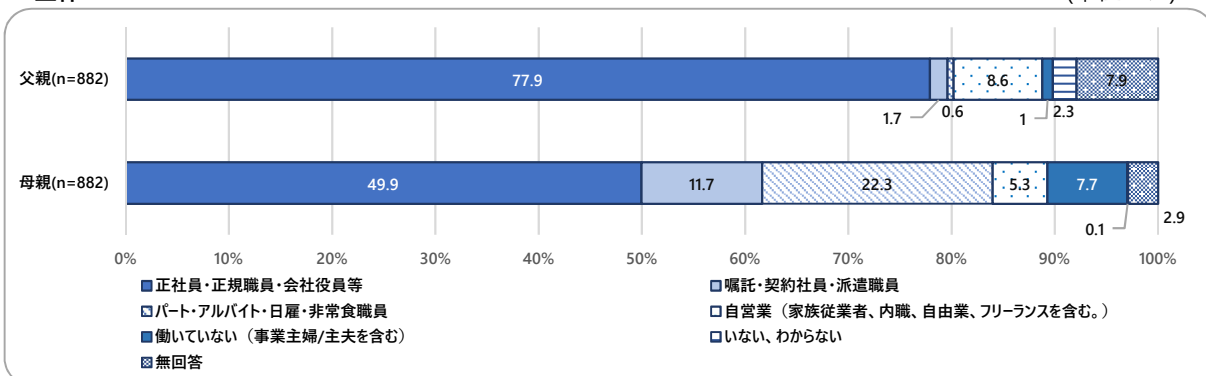


(2) 就労状況

父親は8割弱が正社員等、母親は5割が正社員等となっています。

全体

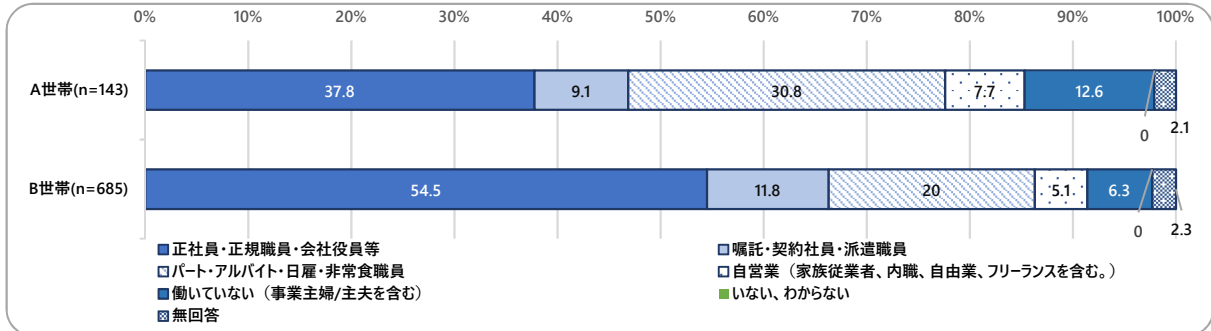
（単位＝％）



集計世帯別

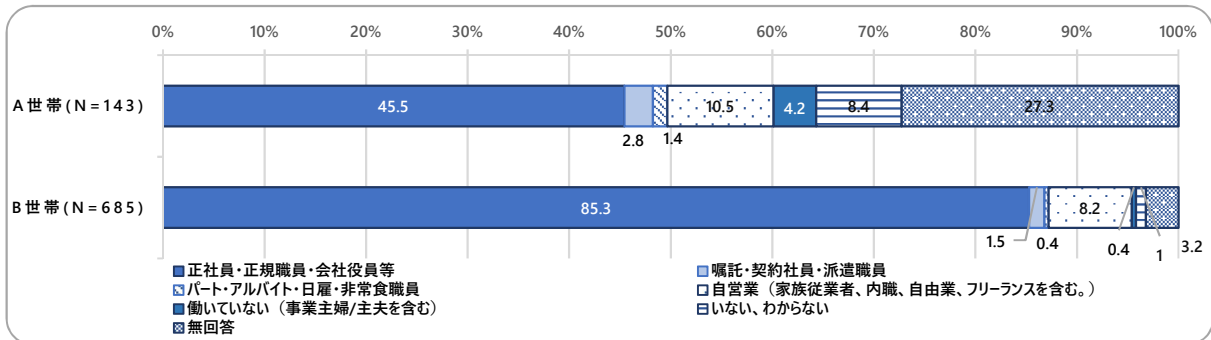
【母親】

(単位 = %)



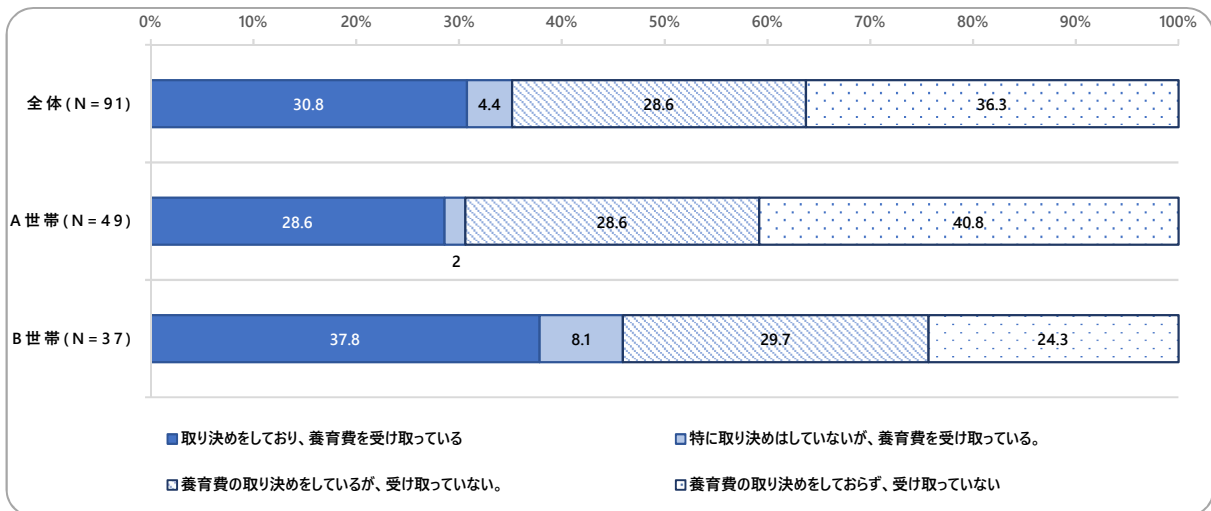
【父親】

(単位 = %)



(3) 離婚相手との養育費の取り決め（保護者の回答）

離婚によるひとり親全体では、離婚相手から養育費をもらっていない世帯が6割を超えています。

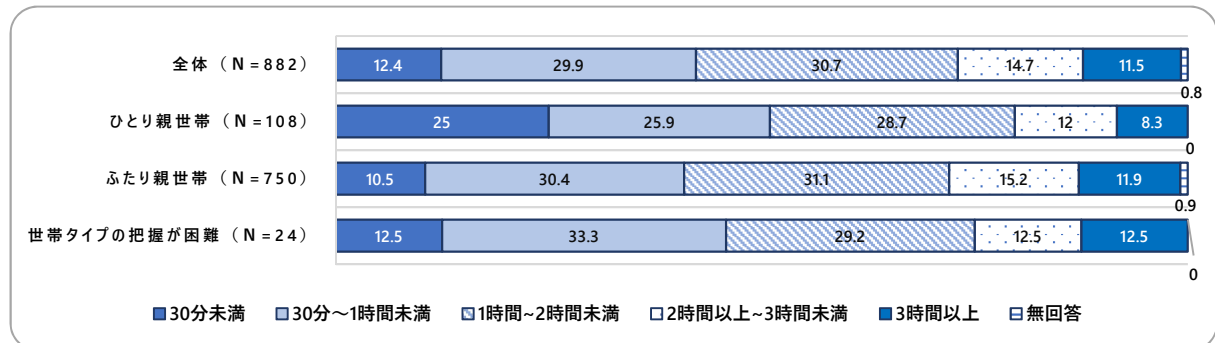


(4) 1日あたりの子どもとのコミュニケーションの時間／全体

全体では、「1時間～2時間」が一番多く、「30分～1時間」が29.9%と続きます。

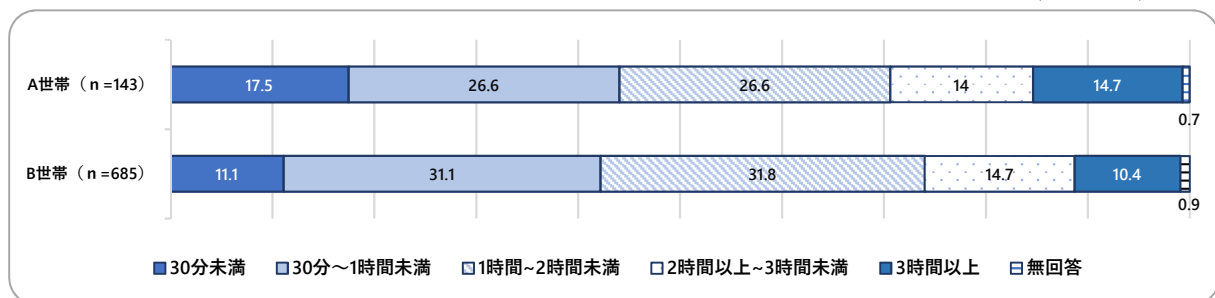
世帯タイプ別

(単位＝％)



集計区分別

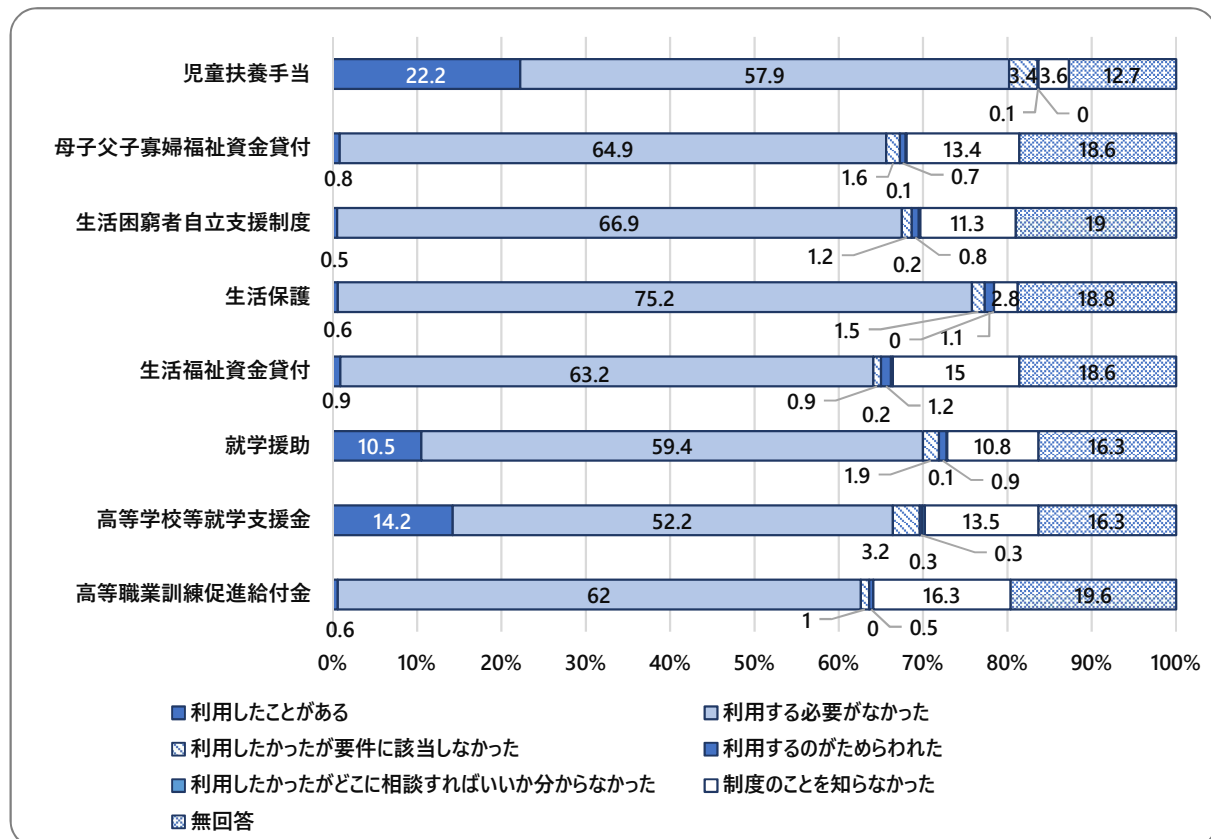
(単位＝％)



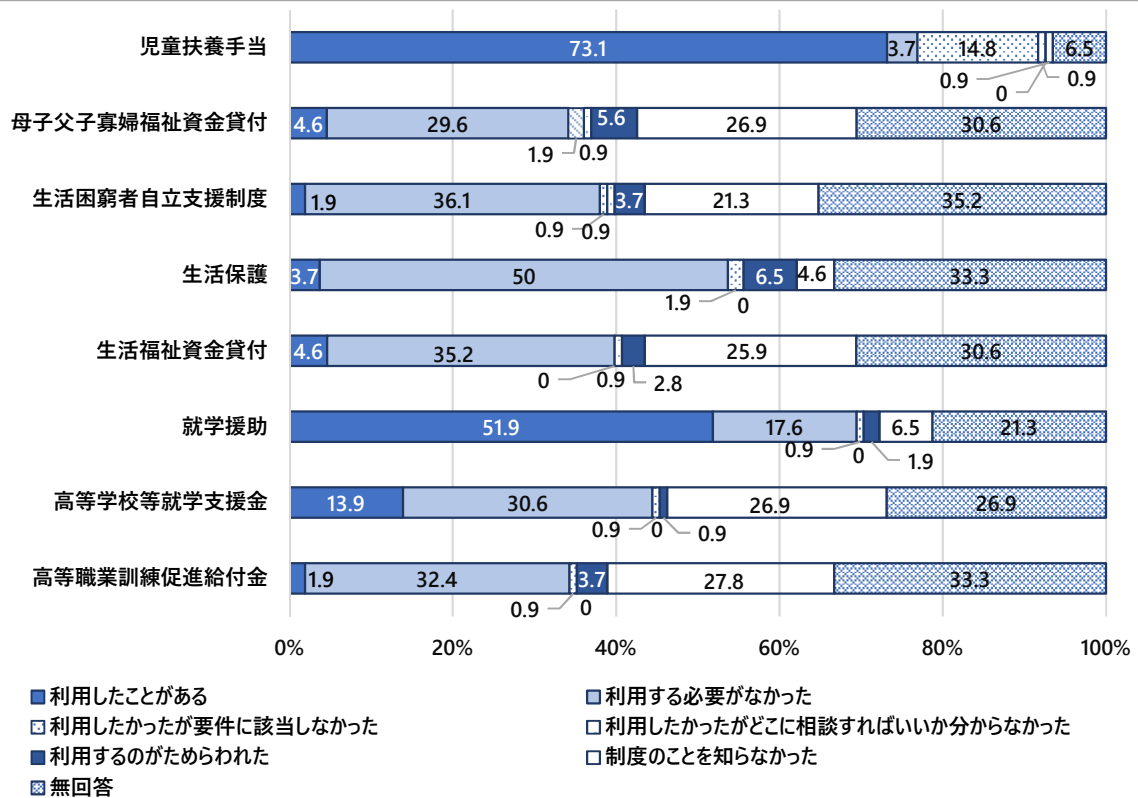
(5) 公的支援制度の利用経験

全体では「利用する必要がなかった」が過半数を占めています。

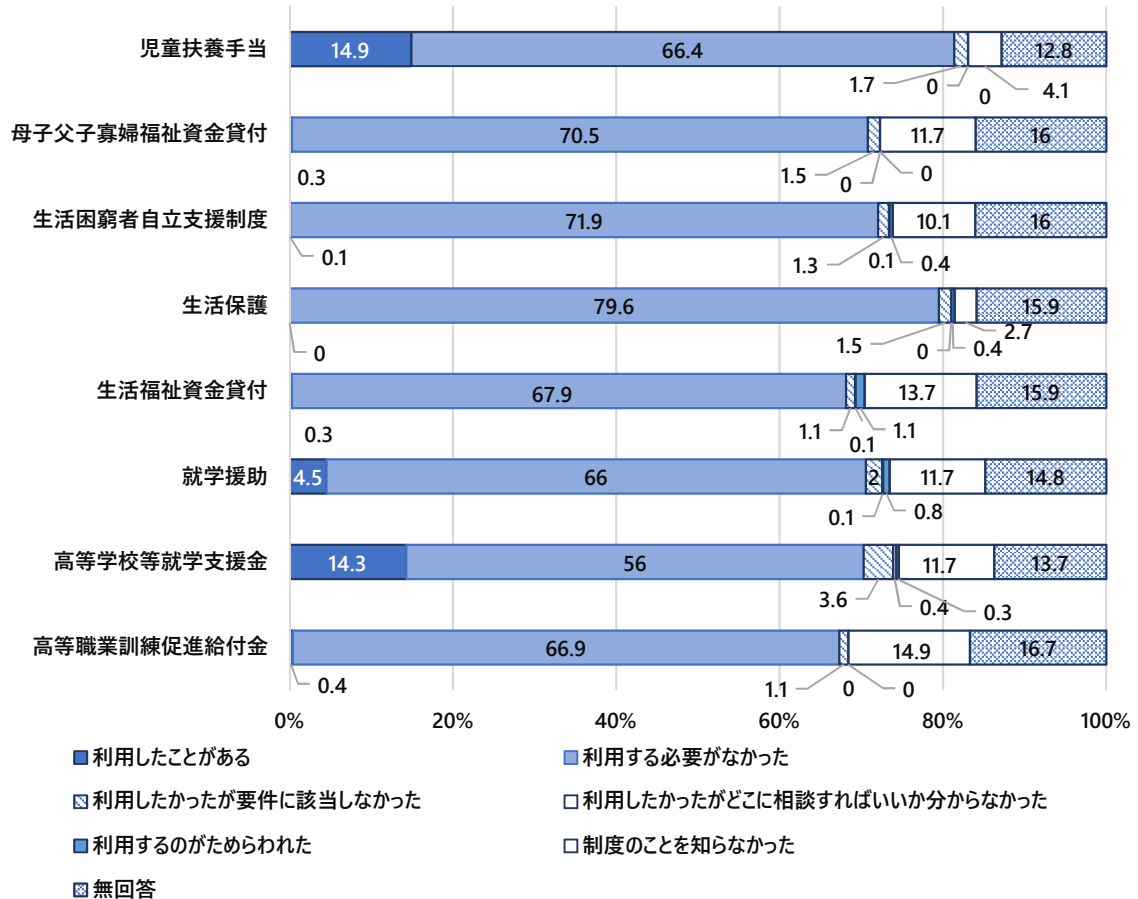
【全体】



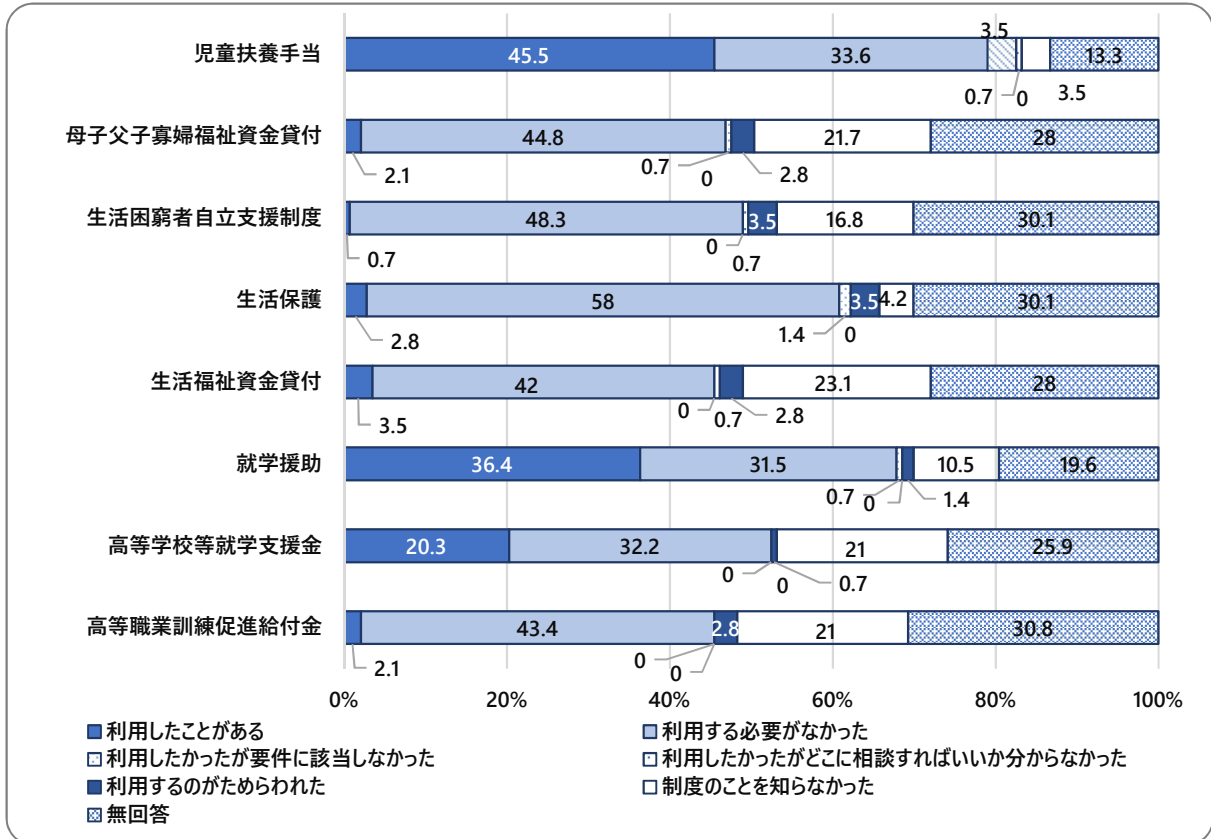
【ひとり親世帯】



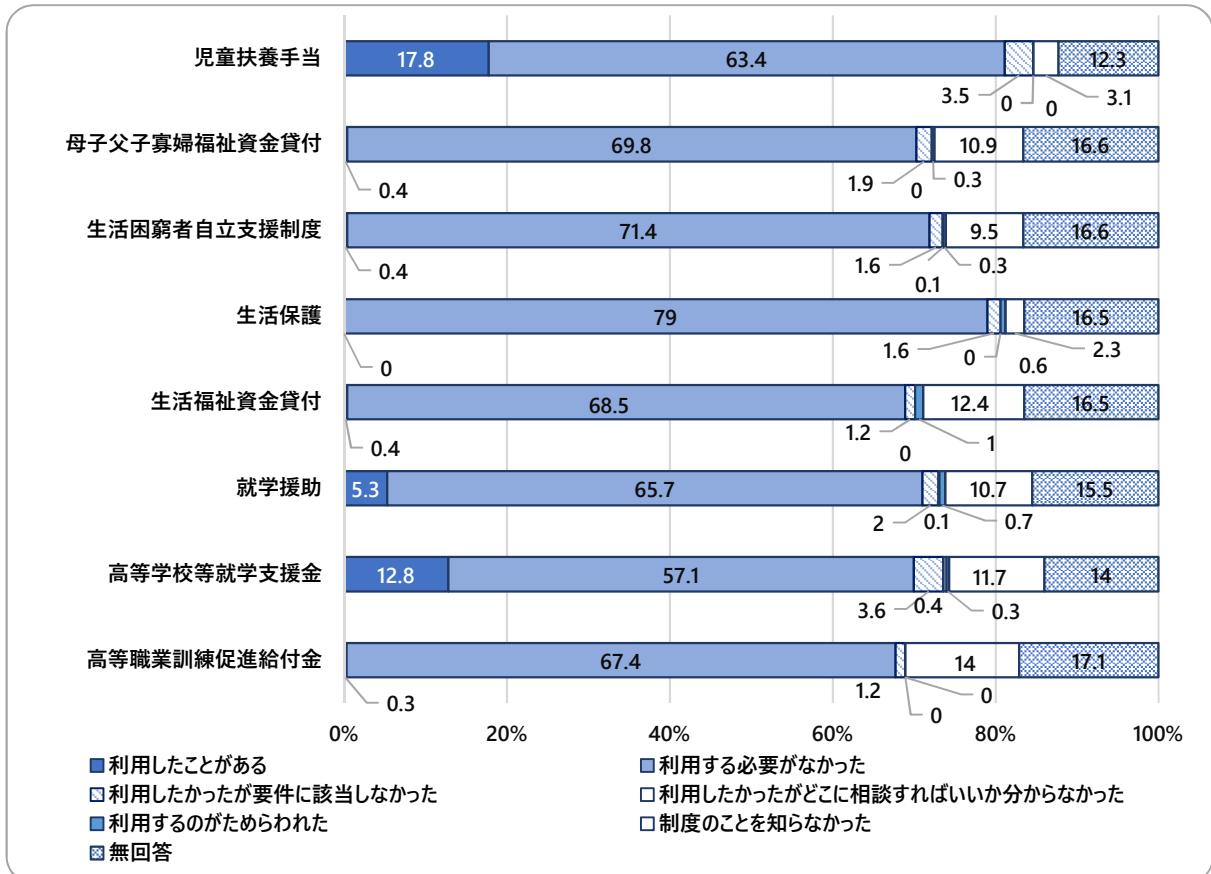
【ふたり親世帯】



【A世帯】



【B世帯】

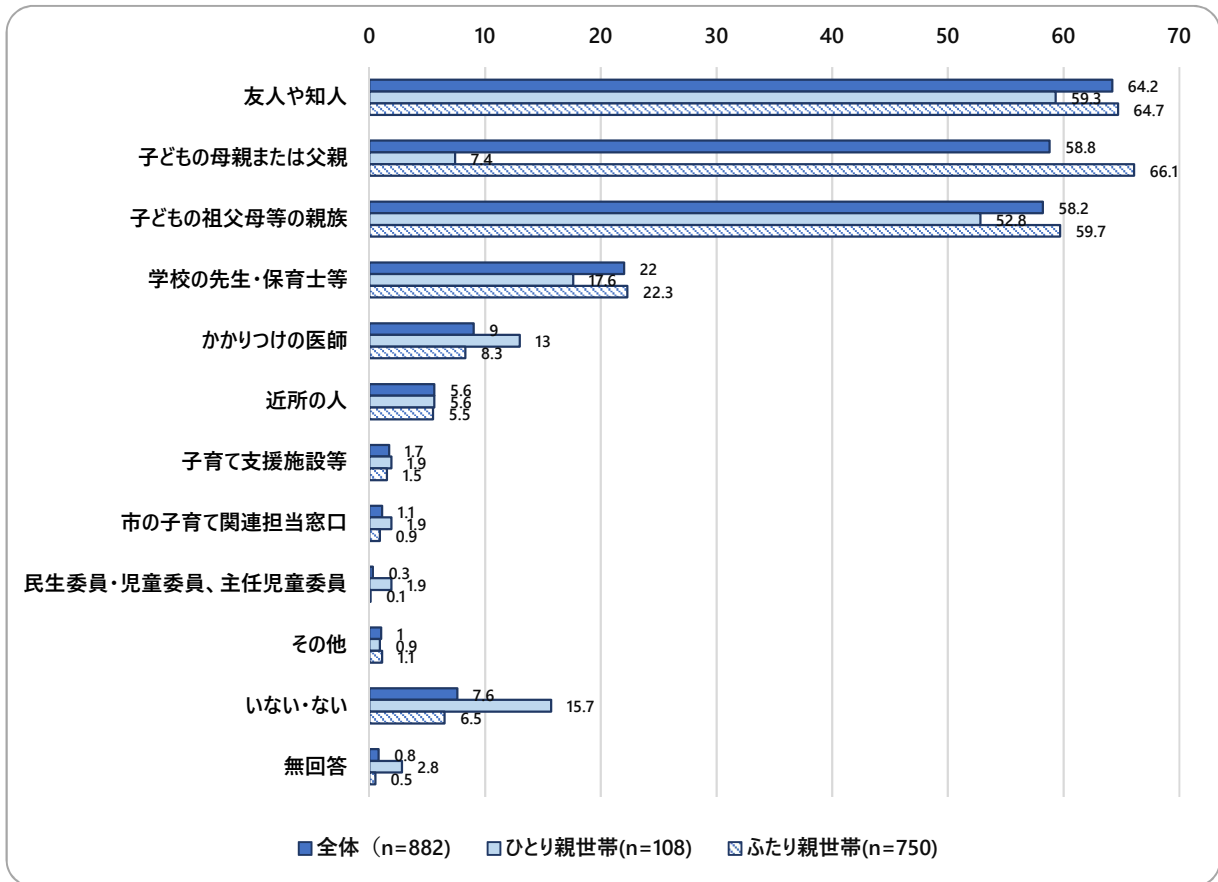


(6) 世帯タイプ別・集計区分別／子育てや教育に関する相談先／全体 (複数回答)

全体では「友人・知人」、「子どもの母親・父親」、「子どもの祖父母等の親族」が半数を超えています。

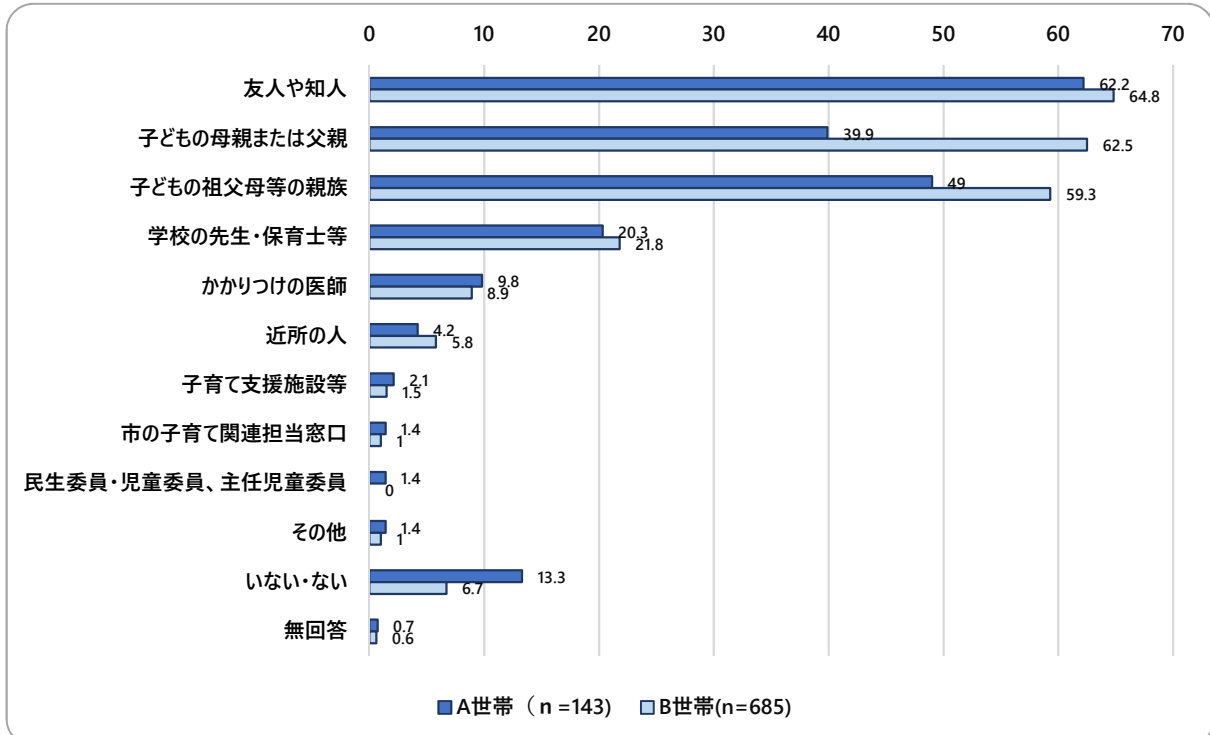
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

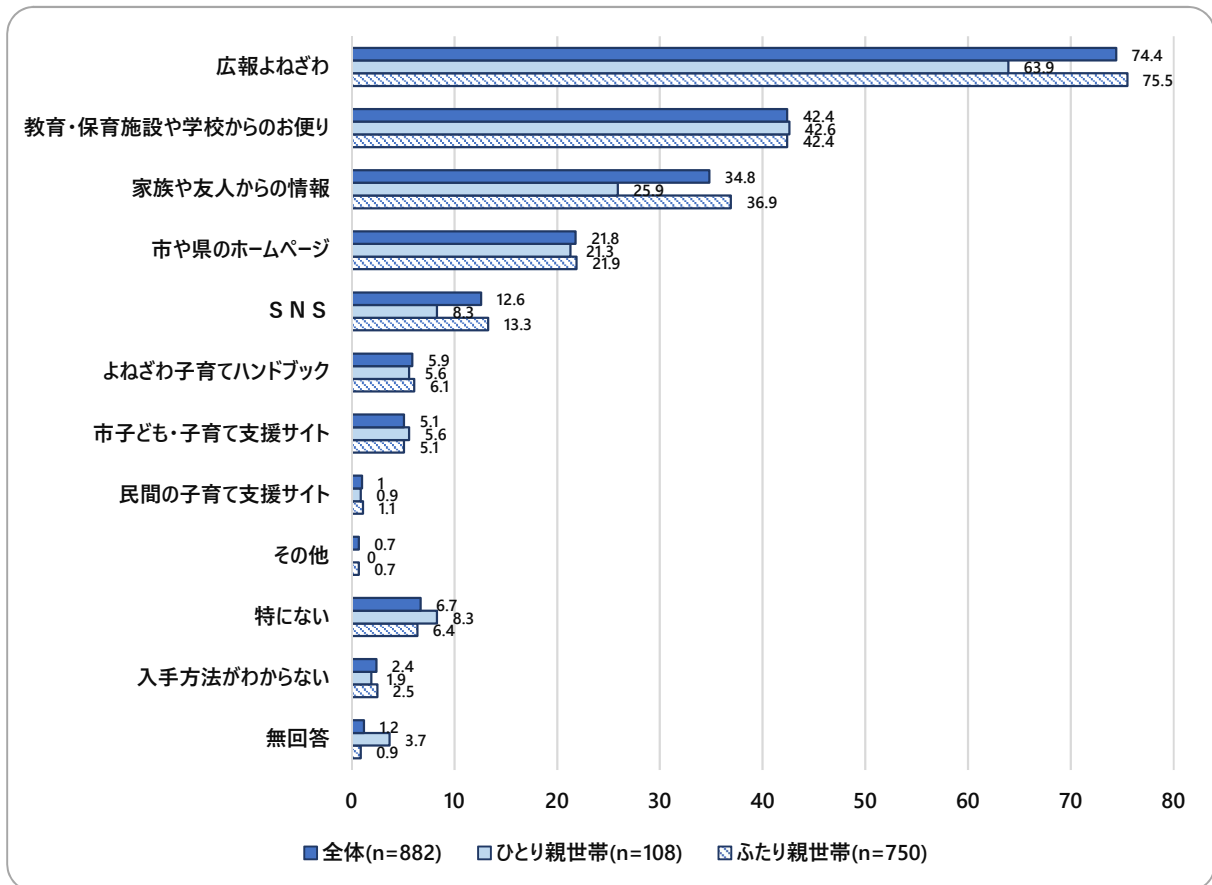


(7) 情報の入手先 (複数回答)

全体では「広報よねざわ」が最も多く、7割強となっています。

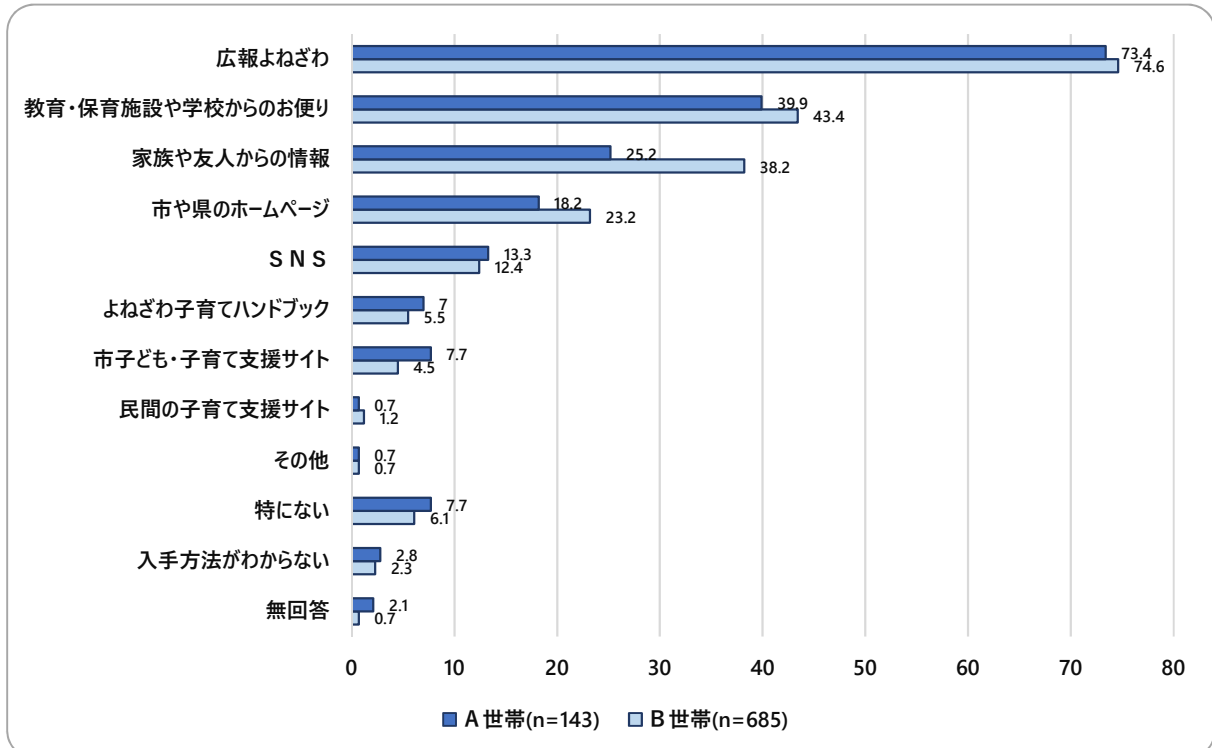
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

(単位 = %)

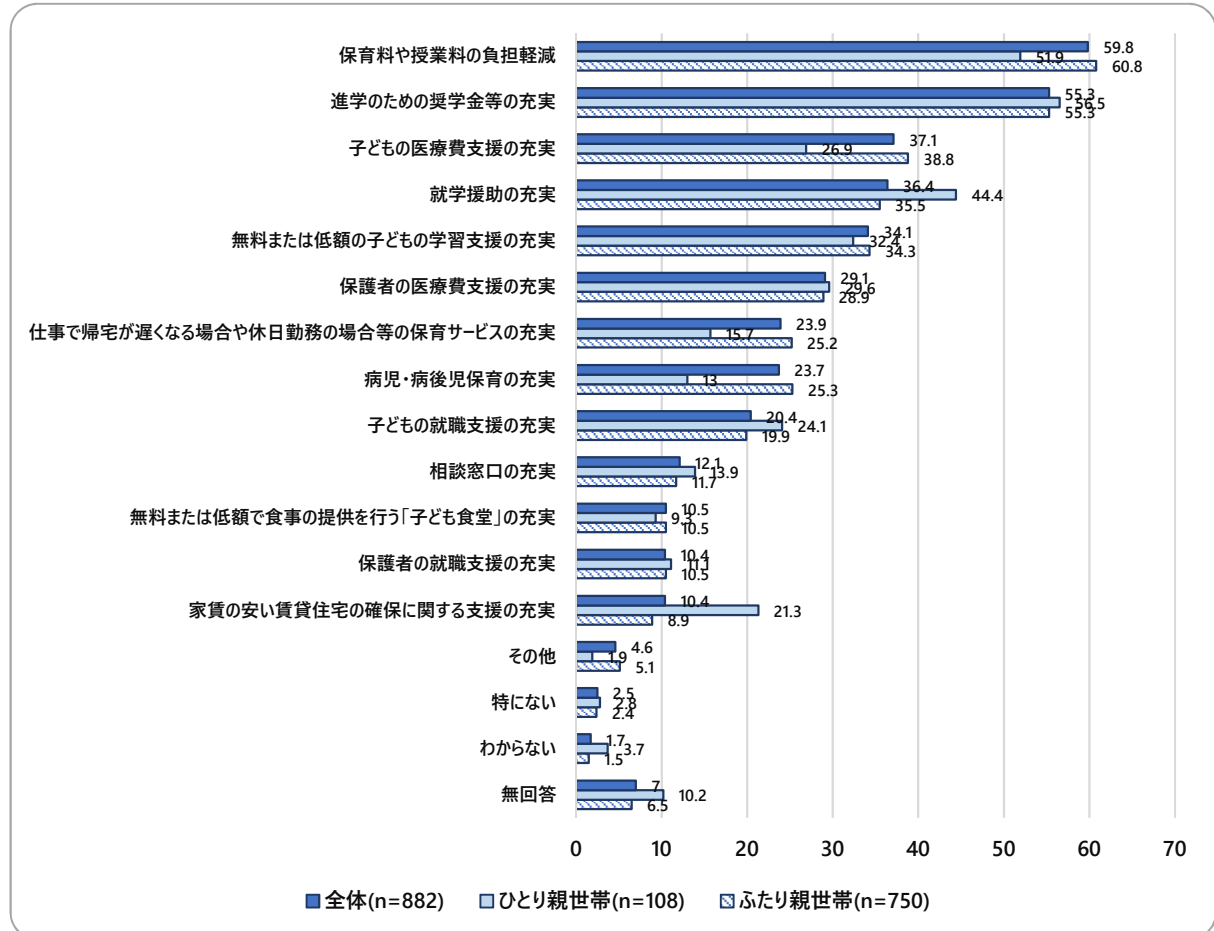


(8) 世帯タイプ別・集計区分別／充実すべき子育て・生活支援／全体（複数回答）

全体では「保育料・授業料の負担軽減」が最も多く、「進学のための奨学金の充実」が続きます。

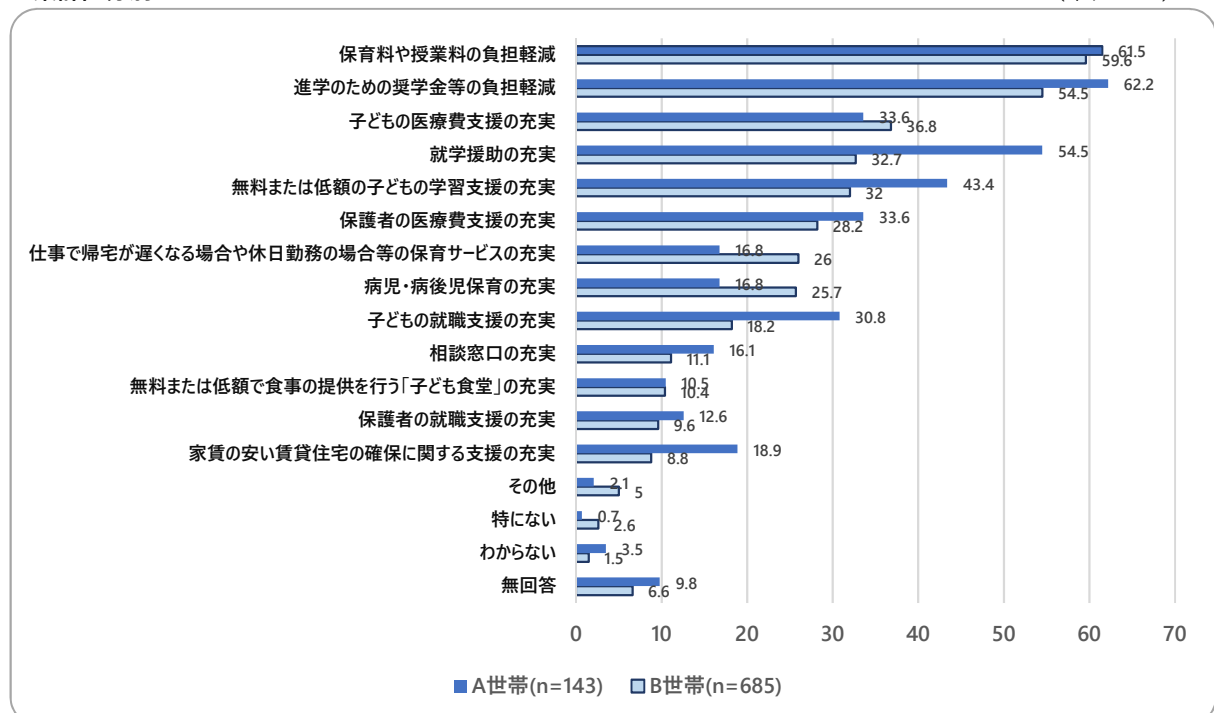
世帯タイプ別

(単位 = %)



集計区分別

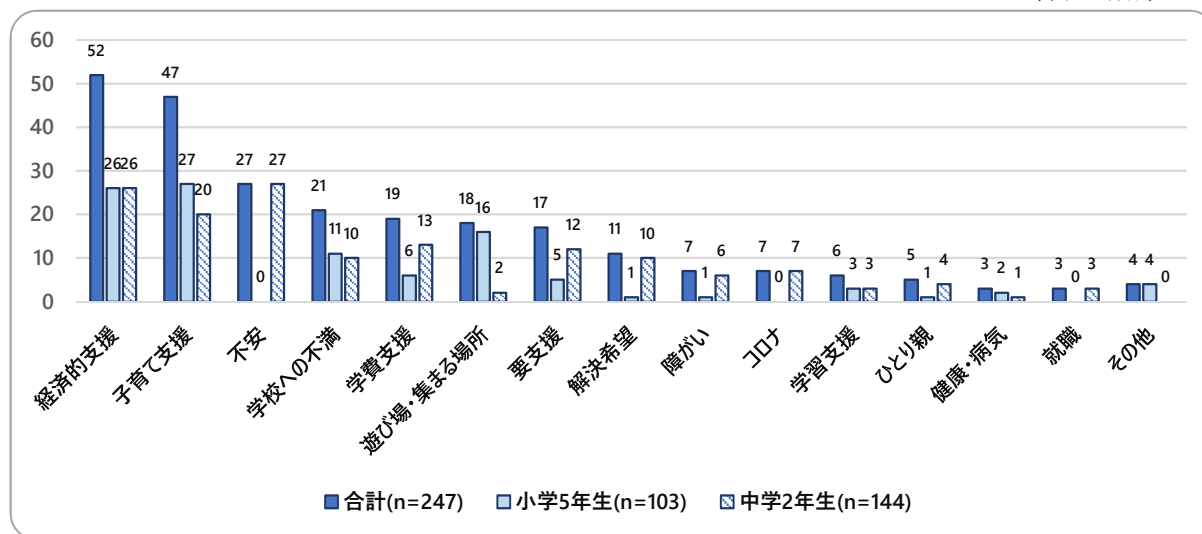
(単位 = %)



(9) 子育てに関する不安や悩みごとなど（自由意見）（複数回答）

「経済的支援」と「子育て支援」が最も多くなっています。

（単位＝件数）



●支援者ヒアリング結果（抜粋）

(1) 子どもの状況（抜粋）

	支援者から見た実態
生活面	・服装が毎日同じ、夏は少し匂いがする子どもがいる ・家族の病気等で自宅が散らかっている家庭がある ・大根を煮ただけで喜んだり浅漬けに感動したりする子どもがいる ・習い事をしたいが、家庭の経済状況からできないでいる子どもがいる
学習面	・文字が読めても内容を理解できない子どもがいる ・宿題を自力でできない子どもが増えている ・コロナで夏休みも10日くらいしかなく授業内容を消化しきれていない子どもがいる ・学校等に通いたくても自宅から遠くて1人で通えない場合安定した通学とならない
生活習慣	・お風呂に入れない、衣類が汚れているなどの子どもはいない ・夜寝るのが遅い、朝ご飯を食べてこない ・パンのみなどの単品の食事をとっている ・保護者の養育能力が乏しく、健康面が安定しない子どもがいる

(2) 保護者の状況（抜粋）

	支援者から見た実態
生活面	・近所づきあいや、友人、知人などの支援者がいない ・コロナ禍で保護者間の関係も希薄になり、保護者の相談相手が減っている ・お金の使い方に課題がある ・相談や支援に前向きでない
就労状況	・コロナの影響による失業や減収などがある ・ひとり親家庭でダブルワークをしても高校生になると経済的にきつい ・メンタル疾患などがあると、なかなか仕事が続かない・決まらない ・非正規雇用など、不安定な雇用環境
子どもとの接し方	・家族の看病などによって母親に負担がかかり、子どもと接する余裕がない ・子育てに対する意欲・意識が低い ・怒ってしつける、怒鳴る、手を挙げているんじゃないかという家庭がある ・保護者の減収などにより子どもの家庭での居心地が悪くなっている家庭がある

(3) 気づき・連携・支援策（抜粋）

	支援者からの意見
気づきについて	・普段から子どもの生活の様子や着ているものなどに気を配っている ・アンテナを高くして気づいたことがあればそれを見逃さないようにする ・気づいた者が関係者と情報共有して対応について具体的な話し合いを進めていくなど気づきのところで見逃さないようにしている ・保護者も子どもも周りの目があるため隠したが。困り感を訴えないで隠す場合には対応する措置がない ・プライバシーの問題があり踏み込めるところに限界があると感じている

	・慎重に進めないと事態を悪化させることにつながる
連携	・地域の見守りをもっと活用していくべき ・個人情報保護の面から、関係機関間の連携がうまくいかないことがある ・児童が要対協から外れた時や制度の狭間で支援が届かない人への支援 ・支援が必要な人に支援が届かないところを解消するためにアウトリーチが必要 ・ネットワークを作るには担当部局を設けて全体で情報を拡散していくことが必要
支援策	・参観日などの日に気軽に相談できるようなところがほしい ・学習が遅れがちな子どもに教えてくれる支援があるとよい ・低額の習い事支援をしてほしい ・どこに相談したらよいか分かりやすい相談窓口がほしい

令和３年度 米沢市子どもの貧困対策推進委員会

No.	氏 名	所 属 団 体 等
1	井間 眞理子	学識経験者（山形県立米沢栄養大学講師）
2	佐々木 英明	米沢市小学校長会（米沢市立南部小学校長）
3	今崎 浩規	米沢市中学校長会（米沢市立第二中学校長）
4	佐藤 敬一	米沢市高等学校長会会長（米沢商業高等学校長）
5	西山 まなみ	米沢市私立幼稚園・認定こども園連合会 （普慈幼稚園長）
6	佐々木 正乗	米沢市保育会会長（松ヶ岬保育園長）
7	進藤 泰子	米沢市学童保育連絡協議会 （どんぐりクラブ放課後児童支援員）
8	田島 美佐子	米沢市社会福祉協議会総務課長
9	伊藤 正俊	特定非営利活動法人から・ころセンター代表理事
10	安達 えり	特定非営利活動法人 With 優 置賜地域生活困窮者子どもの 学習支援事業コーディネーター

令和３年度 会議内容等

第１回 令和３年１０月	(1) 会議等の公開及び会議録の取り扱いについて (2) 子どもの貧困対策推進の概要について (3) 子どもの生活に関するアンケートについて
第２回 令和４年２月	(1) 子どもの生活に関するアンケート結果(中間報告)について (2) その他

令和4年度 米沢市子どもの貧困対策推進委員会

No.	氏 名	所 属 団 体 等
1	井間 眞理子	学識経験者（山形県立米沢栄養大学講師）
2	佐藤 和江	米沢市小学校長会（米沢市立広幡小学校長）
3	今崎 浩規	米沢市中学校長会（米沢市立第二中学校長）
4	佐藤 有二	米沢市高等学校長会会長（米沢工業高等学校長）
5	西山 まなみ	米沢市私立幼稚園・認定こども園連合会 （普慈幼稚園長）
6	佐々木 正乗	米沢市保育会会長（松ヶ岬保育園長）
7	進藤 泰子	米沢市学童保育連絡協議会 （どんぐりクラブ放課後児童支援員）
8	田島 美佐子	米沢市社会福祉協議会総務課長
9	伊藤 正俊	特定非営利活動法人から・ころセンター代表理事
10	安達 えり	特定非営利活動法人 With 優 置賜地域生活困窮者子どもの 学習支援事業コーディネーター

令和4年度 会議内容等

第1回 令和4年12月	米沢市子どもの貧困対策推進計画(素案)について
----------------	-------------------------

●用語解説

子ども	この計画では、厚生労働省管轄に基づく「児童」「子ども」の取り扱いをしているため、子ども・子育て支援法の子どもの取扱いに準じて「18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある者」とする。
児童	児童福祉法で、18 歳未満の者と定められている。
OECD（経済協力開発機構）	ヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め 38 ヶ国の先進国が加盟する国際機関で、経済、貿易、途上国支援などについて、加盟国間の分析・検討を行う。
国民生活基礎調査	保健・医療・福祉・年金・所得等国民生活の基礎的な事項について世帯面から総合的に明らかにする統計調査。3 年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年には、小規模で簡易な調査を実施している。
生活保護	生活に困っている人に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する制度。
就学援助	経済的な理由により学用品などの就学費用に困っている人に対し、安心して学習できるよう、家庭の事情に応じて学用品費や給食費などの一部を補助するもの。
ひとり親家庭等医療給付	所得税が非課税で 18 歳以下の児童を扶養しているひとり親（配偶者に重度の障がいがある場合を含む）とその児童、または両親のいない 18 歳以下の児童が医療機関などにおいて受診した際の自己負担額を助成するもの。
児童扶養手当	父または母と生計を同じくしていない児童（18 歳になった日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある児童、または 20 歳未満で一定の障がいがある児童）を扶養している母又は父、もしくは母又は父に代わってその児童を養育している方に支給される手当。
米沢市子ども家庭支援推進協議会	学校や民生委員など、日ごろ子どもと身近に接する機関や支援を行う団体で組織するネットワーク。相互の情報交換や連携を図るため、令和 3 年に発足した。
ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

S N S	ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。
GIGA スクール構想	児童向けの 1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想。
学習支援	子どもの居場所の取組の一つで、地域の大学生や元教員などのボランティアが、放課後等に無料等で学習をサポートし、学習習慣の定着や基礎学力の習得等を支援する。
スクールカウンセリング	学校に配属されているスクールカウンセラーなどが心の専門家として問題を抱えている子どもと関わり、子どもの心の問題を解決に導く。
スクールソーシャルワーカー	問題を抱える子どもをとりまく、家庭や学校、地域社会などの環境へ働きかけ、関係機関等との連携・調整を行うなどで問題の解決を目指す。
福祉総合相談窓口	令和 3 年 5 月に市庁舎の建替と同時に、複雑化、多様化する福祉に関する相談を丸ごと受け止め、誰もが困りごとを気軽に相談でき安心して暮らすことができるよう設置した福祉の総合窓口。市役所 1 階 15 番窓口に設置されている。
家庭児童相談室	家庭や子育ての悩みについて、事情を把握し相談に応じ、必要な調査や指導を行っている。相談員は 3 人で、積極的な指導活動を行っている。平成 16 年度の児童福祉法等の改正により、市が児童虐待の通告先とされ、様々な支援を行っている。
米沢市要保護児童対策地域協議会	児童福祉法第 25 条の 2 の規定に基づき、要保護児童の適切な保護又は要支援児童もしくは特定妊婦への適切な支援を図るため、関係機関が情報を共有し、連携協力のもと支援を行う。